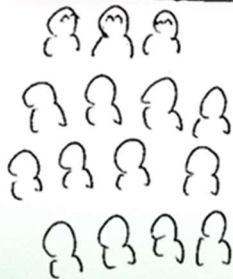
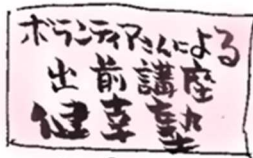


第2期
健康日本21津島市計画
中間評価

世代を超え笑顔が
健康つながるつしま



令和3年3月

目 次

第Ⅰ章 第2期健康日本21津島市計画中間評価の概要

- 1 第2期健康日本21津島市計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 中間評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第Ⅱ章 中間評価の結果

- 1 判定基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 2 全指標の目標達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 達成状況別指標一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4 評価項目の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 5 目標値の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第Ⅲ章 今までの取り組みと今後の取り組み

- 1 つくろうよ ひとりひとりの 生活習慣・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- 2 しあわせな 笑顔あふれる 仲間づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 3 まちづくり 肝心なのは 市民のWA・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 4 取組事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 5 経年推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

資料編

- 1 津島市の現状～校区別に着眼して～・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 2 計画中間評価経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
- 3 名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

第 I 章 第 2 期健康日本 2 1 津島市計画中間評価の概要

1 第 2 期健康日本 2 1 津島市計画について

津島市では、平成 28 年度から 10 年計画の「第 2 期健康日本 2 1 津島市計画」を推進しております。健康に関する市民団体代表、関係機関の職員、市の職員で構成するワーキングを 1 年に 6 回、毎年実施し、取組を推進しております。

本年度は中間評価年度にあたるため、活動の取り組みのふりかえり、目標値の達成状況の確認、分析評価を行いました。なお、新型コロナウイルス感染症により、新しい視点での取り組みについても検討し、取組の見直し計画推進の充実化を図っていきます。

(1) 計画の目指す姿と柱

① 目指す姿（基本理念）

「世代を超えて笑顔で健幸つながるつしま」

② 計画の柱

つ くろうよひとりひとりの健康習慣

（生活習慣病の予防・重症化予防）

自分の身体の状態を知り、健康に対する意識をもってもらうことを優先課題に、健診受診率向上（特定健診・がん検診・歯科検診）を目標に取り組んでいます。

し あわせな笑顔あふれる仲間づくり

（赤ちゃんから高齢者まで、すべての市民の健康づくり）

世代を超えた交流で、地域の健康度を向上させることを優先課題に、世代を超えて気軽に集まれる場所や一緒にできることを目標に取り組んでいます。

ま ちづくり肝心なのは市民のWA

（健康づくりを地域みんなで支え合う仕組みづくり）

地域ぐるみで健康に関心を高めていく仕組みづくりを優先課題に、地域とのコラボレーションを目標にとりくんでいます。

(2) 計画の期間

平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間です。令和 7 年度に最終評価を実施します。

2 中間評価の目的

平成 28 年度から令和 2 年度において、計画が順調に推進しているかを評価し、最終年度に向けて目標達成のために取り組むべきことを明確することを目的とする。各指標の数値の比較、現状の健康に関するデータの改善状況、事業の取り組み状況について分析し評価し、評価指標、目標値の見直しを行った。

コラム① 様々な場面で生活習慣の啓発をしています。

保健師と栄養士は小学校5年生にはクラスごとに「早寝早起き朝ごはん」のお話をしています。大人も良質な睡眠を心がけてください。



朝ごはんを
しっかり
食べられる



元気な体を
つくる



覚えたこと
を整理する



体を
成長させる



自分のことを
好きという気
持ちを育てる

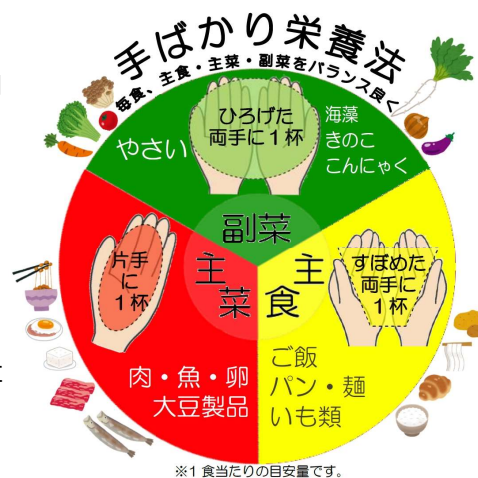


歯科衛生士は歯やお口の健康のために、歯科検診の必要性や正しいお口のお手入れ方法等について啓発しています。

お口の健康は、食事や会話を楽しむなど豊かで幸せな生活を送るために大切です。また糖尿病や誤嚥性肺炎等の全身疾患の予防にもつながります。毎日きちんとお口を清潔にし、定期的に歯科検診を受けましょう。

栄養士や食生活改善推進員は自分の手で食べる量を計る「手ばかり栄養法」で1食の目安量をお話しています。

生活環境の変化で、家で食事をする割合が増えてきています。自分で調理する場合、調理済み食品を買ってくる場合、どちらでも自分の手を物差しにして、バランスよく適量食べて、自分の好きなことを楽しんでください。



第Ⅱ章 中間評価の結果

1 判定基準

策定時のベースライン値と直近値とを比較し達成率の状況によりA～Eの区分に分けて判定をした。

$$\text{達成率（\%）} = \frac{\text{直近値} - \text{ベースライン値}}{\text{目標値} - \text{ベースライン値}} \times 100$$

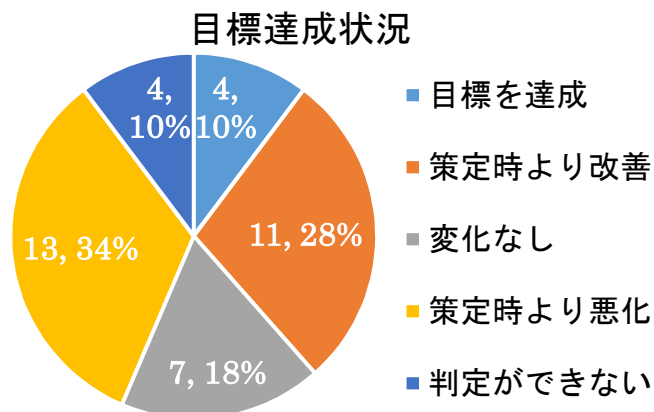
達成率	判定区分
100%以上	A：目標を達成
10%以上 100%未満	B：策定時より改善
-10%以上 10%未満	C：変化なし
-10%未満	D：策定時より悪化
判定できない	E：判定ができない

2 全指標（39項目）の目標達成状況

目標を達成、策定時より改善は38%、変化なしは18%であった。

朝食欠食に関しては本来減少値を目標値とすべきところ、増加値と設定しているため、目標値の修正が必要である。

また、国保データベースシステム（KDB）のデータの変更や、「愛知腎臓財団」によるデータ変更により、判定できない項目は、評価項目の変更が必要である。



指標数	判定結果				
	A	B	C	D	E
39	4	11	7	13	4
100%	10%	28%	18%	34%	10%

3 達成状況項目別

<p>A 目標を達成 (達成率 100%以上)</p>	<p>健康づくりに関するボランティア会員数の増加 (認知症予防) 運動習慣 (女) 朝食欠食 (男) 健康意識 (女)</p>
<p>B 策定時より 改善 (達成率 10%以上 100%未満)</p>	<p>がん検診の受診率の向上 (肺がん) 特定健診の実施率の向上 糖尿病保有者数の増加の抑制 (男) 糖尿病保有者数の増加の抑制 (女) 健康づくりに関するボランティア会員数の増加 (健康づくりリーダー) 健康づくりに関するボランティア会員数の増加 (糖尿病予防し隊) 身体活動 (男) 朝食欠食 (女) 飲酒者 (男) 8020 該当者数の増加 歯科検診受診者数の増加</p>
<p>C 変化なし (達成率 -10%以上 100%未満)</p>	<p>メタボ該当者の減少 メタボ予備群の減少 特定保健指導の実施率の向上 人工透析患者人口 1 万人対比の減少</p>

	<p>自殺者の減少（人口 10 万人当たり）</p> <p>健康づくりに関するボランティア会員数の増加 （食生活改善推進員）</p> <p>健康づくりに関するボランティア会員数の増加 （元気でいよう会）</p>
<p>D 策定時より 悪化 （達成率 －10%未満）</p>	<p>がん検診の受診率の向上（胃がん）</p> <p>がん検診の受診率の向上（大腸がん）</p> <p>がん検診の受診率の向上（子宮頸がん）</p> <p>がん検診の受診率の向上（乳がん）</p> <p>運動習慣（男）</p> <p>身体活動（女）</p> <p>飲酒者（女）</p> <p>睡眠（男）</p> <p>睡眠（女）</p> <p>健康意識（男）</p> <p>喫煙率（男）</p> <p>喫煙率（女）</p> <p>3 歳児でう蝕がない者の割合の増加</p>
<p>E 判定が できない</p>	<p>健康寿命の延伸（男）</p> <p>健康寿命の延伸（女）</p> <p>人工透析新規導入患者数の増加の抑制</p> <p>人工透析新規導入患者数（糖尿病性腎症による）の減少</p>

コラム② 健康づくりのボランティアさんが出向いてお話をする「健幸塾」を担って活躍していただいております。ボランティアさん達が笑顔で活動していただくことで、笑顔の輪が広がっています。「健幸塾」の窓口は健康推進課です。

健康づくりリーダー

津島のご当地体操
「つし丸たいそう」「マッキー
ストレッチ」などを広めています。



糖尿病予防し隊

糖尿病発症予防、重症化予防を
目的に、啓発活動を行っています。



元気でいよう会
人と人が
つながり合い、
誰もが笑顔で
元気に暮らす
ことのできる
まちづくりの
実現を目指して
活動しています。



食生活改善推進員

食育キャラクター
「食まるファイブ」
や「手ばかり栄養法」
でバランスよく適量
食べることを広めて
います。



認知症サロン

ボランティア
高齢者サロンを
開催して、
認知症予防の
取り組みを
しています。



4 評価項目の見直し

(1) 変更する項目・目標値

- ①国保データシステムの変更により、平均寿命・健康寿命から、平均余命・平均自立期間となったため変更。
- ②がん検診の受診率の目標値は、国、県ともに50%であるが、市の第5次総合計画との相互性から40%へ変更する。
- ③愛知腎臓財団による情報提供の内容が変更となったため、人工透析新規導入患者数及び糖尿病性腎症の把握が不明となった。人工透析患者数は把握が可能なため総数の把握のみとする。
- ④朝食の欠食率の減少の目標値が増加値のため減少値へ変更する。

変更前	変更後
健康寿命の延伸（KDB）	平均余命（KDB） 平均自立期間/要支援・要介護（KDB）
肺がん・大腸がんの検診の受診率 50% 子宮頸がん・乳がんの検診の受診率 30%	肺がん・大腸がんの検診の受診率 40% 子宮頸がん・乳がんの検診の受診率 40%
人工透析新規導入患者の増加の抑制（愛知腎臓財団） 人工透析新規導入患者数（糖尿病性腎症による）の減少（愛知腎臓財団）	人工透析患者の増加の抑制（愛知腎臓財団）
朝食の欠食率の減少（男） 20% 朝食の欠食率の減少（女） 15%	朝食の欠食率の減少（男） 10% 朝食の欠食率の減少（女） 5%

(2) 新規に追加する項目

- ①高齢化に伴い認知症の患者数も増加しており、その数の推移、及び取り組み等も本計画目標に深く関与するため、新規データとする。
- ②ボランティアによる出前講座「健幸塾」がポピュレーションアプローチを担っているため、実施回数を新規データとする。

5 目標値の設定

網掛けは見直し項目及び目標値

指標		ベースライン値(年次)	直近値(年次)	令和7年度目標値
平均余命の延伸(男)	KDB ※平均自立期間は要支援・要介護のデータ	81.3歳(R1)	新規	増加
平均余命の延伸(女)		86.9歳(R1)	新規	増加
平均自立期間の延伸(男)		78.6歳(R1)	新規	増加
平均自立期間の延伸(女)		81.1歳(R1)	新規	増加
胃がん検診の受診率向上	津島の保健	17.1%(H26)	15.1%(R1)	40%
肺がん健診の受診率向上		30.4%(H26)	32.5%(R1)	40%
大腸がん検診の受診率向上		29.6%(H26)	28.2%(R1)	40%
子宮頸がん検診の受診率向上		9.7%(H26)	6.2%(R1)	40%
乳がん検診の受診率向上		10.4%(H26)	7.8%(R1)	40%
メタボ該当者の減少	特定健診・特定保健指導実施結果報告(AI Cube)	19.3%(H26)	22.2%(R1)	減少
メタボ予備群の減少		11.0%(H26)	11.2%(R1)	減少
特定健診の実施率の向上		39.0%(H26)	42.1%(R1)	増加
特定保健指導の実施率の向上		11.2%(H26)	8.3%(R1)	増加
人工透析患者の増加の抑制	(愛知腎臓財団)	169人(R1)	新規	減少
糖尿病保有患者の増加の抑制(男)	AI Cube(5月データ抽出)	1,159人(H26)	963人(R1)	減少
糖尿病保有患者の増加の抑制(女)		1,106人(H26)	903人(R1)	減少
自殺者の減少(人口10万人当たり)	愛知県衛生年報	26.6人(H25)	25.8人(H30)	県と同等
食生活改善推進員の増加	津島の保健	19人(H27)	17人(R1)	30人
健康づくりリーダーの増加		21人(H27)	26人(R1)	40人
元気でいよう会の増加		29人(H27)	28人(R1)	40人
糖尿病予防し隊の増加		22人(H27)	31人(R1)	50人
認知症予防のボランティアの増加	高齢介護課	60人(H27)	80人(R1)	90人

指標		ベースライン値(年次)	直近値(年次)	令和7年度目標値
運動習慣がある人の増加(男)	健康日本21あいち新計画「資料編」	31.5%(H23)	29.0%(H28)	40%
運動習慣がある人の増加(女)		29.4%(H23)	30.3%(H28)	35%
身体活動がある人の増加(男)		38.5%(H23)	38.8%(H28)	45%
身体活動がある人の増加(女)		43.4%(H23)	42.3%(H28)	50%
朝食欠食率の減少(男)		13.3%(H23)	16.1%(H28)	10%
朝食欠食率の減少(女)		6.5%(H23)	7.6%(H28)	5%
飲酒者の減少(男)		65.9%(H23)	65.3%(H28)	55%
飲酒者の減少(女)		32.1%(H23)	33.4%(H28)	25%
十分な睡眠がとれている人の増加(男)		68.1%(H23)	64.8%(H28)	75%
十分な睡眠がとれている人の増加(女)		70.4%(H23)	67.7%(H28)	80%
健康意識の高い人の増加(男)		63.3%(H23)	62.2%(H28)	70%
健康意識の高い人の増加(女)		69.4%(H23)	70.7%(H28)	75%
喫煙者の減少(男)		35.1%(H23)	38.1%(H28)	25%
喫煙者の減少(女)		7.7%(H23)	12.9%(H28)	5%
8020 該当者数の増加	津島の保健	87人(H27)	130人(R1)	増加
歯科検診の受診者の増加		72人(H26)	237人(R1)	増加
3歳児でう蝕がない者の割合の増加	健康かるて	90.6%(H26)	88.1%(R1)	95%
介護認定者における認知症率の増加の抑制	(高齢介護課)	9.8%(R2)	新規	維持
健幸塾実施回数の増加	津島の保健	18回(R1)	新規	増加

第三章 今までの取り組みと今後の取り組み

生活習慣病の発症予防・重症化予防

1 つくろうよ ひとりひとりの 健康習慣

優先課題（平成28年度）

自分の身体を知り、健康に対する意識を持つことが大事！！

健診受診率向上（特定健診・がん検診・歯科検診）「そうだ！健診に行こう！」

平成28年度～令和元年度に重点的にできたこと

各種啓発チラシ・キャッチフレーズを作成し、イベント等で啓発した。

特定健診・がん検診のチラシ作成

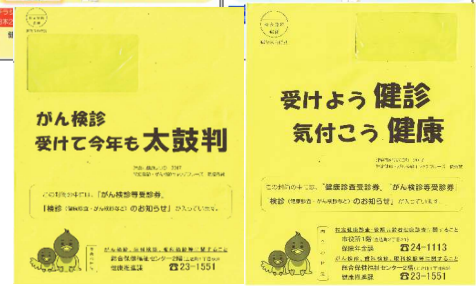
生活習慣に関するチラシ作成



健診啓発のためのキャッチフレーズ作成（一般公募）

担当課・協力機関

医師会・歯科医師会・薬剤師会・地域コミュニティ・健康推進課
 保険年金課・社会教育課・市民協働課・協会けんぽ・
 あいち海部農協組合・糖尿病予防し隊・元気でいよう会・
 健康づくりリーダー・食生活改善推進員・介護予防ボランティア



指標の状況

項目	ベースライン	直近値
胃がん検診の受診率向上	17.1%	15.1%
肺がん検診の受診率向上	30.4%	32.5%
大腸がん検診の受診率向上	29.6%	28.2%
子宮頸がん検診の受診率向上	9.7%	6.2%
乳がん検診の受診率向上	10.4%	7.8%
メタボ該当者の減少	19.3%	22.2%
メタボ予備群の減少	11.0%	11.2%
特定健診の実施率の向上	39.0%	42.1%
特定保健指導の実施率の向上	11.2%	8.3%
人工透析患者の増加の抑制	169人	新規
糖尿病保有患者の増加の抑制（男）	1159人	963人
糖尿病保有患者の増加の抑制（女）	1106人	903人
朝食欠食率の減少（男）	13.3%	16.1%
朝食欠食率の減少（女）	6.5%	7.6%
飲酒者の減少（男）	65.9%	65.3%
飲酒者の減少（女）	32.1%	33.4%
喫煙者の減少（男）	35.1%	38.1%
喫煙者の減少（女）	7.7%	12.9%
8020 該当者数の増加	87人	130人
歯科検診の受診者の増加	72人	237人
3歳児でう蝕がない者の割合の増加	90.6%	88.1%

課題

- 啓発チラシ作成、キャッチフレーズ作成したが、健診受診率が伸び悩んでいる。
- 歯科の受診者数は増加しているが、受診率は変化ない。
- 喫煙者が男女とも増加している
- 社会情勢や環境の変化で受診率低下が予測される。

啓発活動は、健診・検診受診者の継続受診には影響しているが、未受診者が受診行動をとるまでにはなっていない。コロナウイルス感染症の影響で受診継続者も受診控えすることも推測される。

生活が変化する中で、健康づくりの意識が新たに芽生える。

優先課題（令和2年度から令和7年度）

安心して、健診・検診の受診、治療の継続の必要性を理解し、受診行動、治療の継続をとることができる。

思い

社会情勢や環境の変化で、健診・検診、治療の受診控えによる健康状態の悪化を防ぎたい。

一方で、食習慣・運動などの生活習慣の変化、人とのつながりが少なくなるなどの生活習慣の変化があった。これを機会に、健康状態への意識が高まってほしい。

今後の取組：達成事業は継続実施、未達成の事業は継続取組、新たに取り組む事業は「新規」として加えました。

事業（課・関係機関）	環境整備に関すること
短期（平成28年度から平成30年度） ハイリスク者向けの 達成 重症化予防講座の実施 薬剤師による薬の講座の実施 中期（平成30年度から令和2年度） 健（検）診の受診時期の平準化 ハイリスク者へのアプローチ 長期（令和2年度から令和7年度） 40歳未満の肥満者への健康指導 新規 リモートの健康教室 健康マイレージアプリの導入	短期（平成28年度から平成30年度） 健康づくりに関する講座一覧の作成 かかりつけ医・歯科医・薬局の推奨 中期（平成30年度から令和2年度） 個別健診・がん検診・歯科健診の受診率アップ 長期（令和2年度から令和7年度） 受診から治療まで一貫して支援する体制の整備 運動する場、講話の場の増加
市民協働の取組	関係機関等のコラボ
短期（平成28年度から平成30年度） 達成 ボランティアによる健診受診勧奨 糖尿病予防講座その他の健康講座の 受講者の拡大 中期（平成30年度から令和2年度） 健康講座の受講者から市民への 普及啓発活動の実施 長期（令和2年度から令和7年度） すべての市民が生活習慣病の予防の 知識を得るための仕組みづくり	短期（平成28年度から平成30年度） 達成 協会けんぽと連携した受診勧奨 中期（平成30年度から令和2年度） 健康まつりの地区開催化 医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力による コミュニティ催事への健康ブースの出展 達成 長期（令和2年度から令和7年度） 家族単位の健康教育 医療と連携したハイリスク者へのアプローチ 新規 小学校でのがん教育 職域への禁煙教育

※達成！P17参照

2 しあわせな 笑顔あふれる 仲間づくり

優先課題（平成 28 年度）

人との交流はこころの健康につながる！！ 交流の場は、健康の情報交換の場になる！！
世代を超えた交流で地域の健康度を向上させる。

平成 28 年度～令和元年度に重点的にできたこと

① つながる場づくりをした。

⇒世代間交流の場・居場所づくり（東小学校区コミュニティ「ほっこり長屋」）

②健康づくりの普及啓発（地域コミュニティ・サロン等）をした。

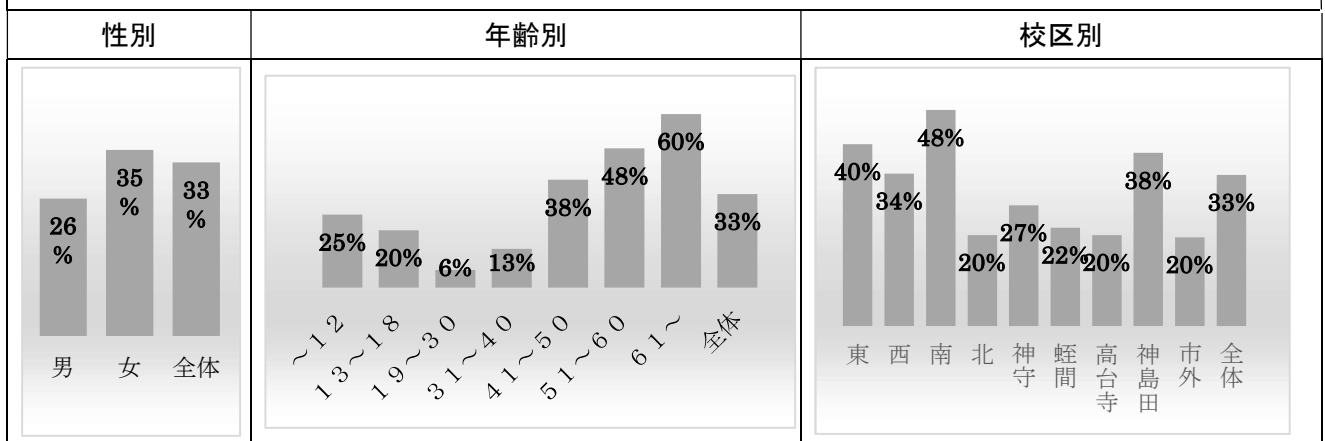
「つし丸たいそう」

「マッキーストレッチ」の普及啓発

担当課・協力機関

地域コミュニティ・健康推進課・社会教育課
市民協働課・協会けんぽ・健康づくりリーダー

つし丸たいそう認知度（実施期間 2019.10-12 各種イベント時、乳幼児健診にて 746 人に実施）



指標の状況

項目	ベースライン値	直近値
平均余命の延伸(男)		81.3 歳
平均余命の延伸(女)		86.9 歳
平均自立期間の延伸(男)		78.6 歳
平均自立期間の延伸(女)		81.1 歳
自殺者の減少 (人口 10 万人あたり)	26.6 人	25.8 人
運動習慣がある人(男)	31.5%	29.0%
運動習慣がある人(女)	29.4%	30.3%
十分な睡眠がとれている人(男)	68.1%	64.8%
十分な睡眠がとれている人(女)	70.4%	67.7%
健康意識の高い人(男)	63.3%	62.2%
健康意識の高い人(女)	69.4%	70.7%
つし丸たいそう実施回数		5 回
つしま健康マイレージ 「まいか」交付数	37 人 (H27)	956 人 (R1)

課題

- 世代間交流の場が少ない。
- イベント参加者の世代が偏り、若年層の参加が少ない。
- つし丸たいそうをする機会がない。
- 同年代も多年代もつながりが希薄。
- つながりを望まない人もいる。
- 新しい生活様式による交流制限。

世代間交流で地域の健康度向上、つし丸たいそう等を媒体として普及啓発を行ったが、地域差、年齢差があった。生活の変化によって、小さい地域の交流や情報交換も見直されている。

家族の繋がりが強固となり、各世代が健康づくりを楽しむ

優先課題（令和2年度から令和7年度）

今ある集う場で健康の要素を加えていく。

思い

環境の変化で、集う場や機会が減ってきているが、感染対策を徹底し、少人数の集まりを再開し、世代間交流ができる。

今後の取組：達成事業は継続実施、未達成の事業は継続取組します。

事業（課・関係機関）	環境整備に関すること
短期（平成28年度から平成30年度） 乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の各世代に応じた健康施策の立案・実施 中期（平成30年度から令和2年度） 成人期、特に働く世代へのアプローチ 長期（令和2年度から令和7年度） 乳幼児期から高齢期まで切れ目ない施策の展開	短期（平成28年度から平成30年度） 世代間交流を通じた健康づくりを実施する場の確保及びモデル事業の実施 達成 中期（平成30年度から令和2年度） 世代間交流の場において「健康の大切さを発信」する仕組みづくり 長期（令和2年度から令和7年度） 地区ごとに、世代間交流の場が確保でき健康づくりに関する施策が充実
市民協働の取組	関係機関等のコラボ
短期（平成28年度から平成30年度） ボランティアによるつし丸たいそう等の普及 市民編による健康チェックの実施（学校） 中期（平成30年度から令和2年度） ボランティアによるつし丸たいそう等の普及 達成 市民編による健康チェックの実施（事業所） 長期（令和2年度から令和7年度） ボランティアによるつし丸たいそう等の普及 市民編による健康チェックの実施（地域・家庭）	短期（平成28年度から平成30年度） 商工会議所、協会けんぽ等、事業所単位での健康マイレージへの参加の促進 達成 中期（平成30年度から令和2年度） 商工会議所、協会けんぽ等、事業単位での健康講座の実施 達成 長期（令和2年度から令和7年度） トレーニングジム、スイミングスクール等関係機関での市の健康施策の実施

※達成！P17 参照

3 まちづくり 肝心なのは 市民のWA

優先課題（平成 28 年度）

市民の健康意識に差がある！！地域ぐるみで健康に関心を高めていく仕組みづくりが必要！！

平成 28 年度～令和元年度に重点的にできたこと

①健幸塾の説明ちらし作成をした。

健幸塾とは

地域コミュニティやサロン、子ども会などのイベントに、健康づくりのボランティアさんが出向く講座です。

認知症予防のゲームや笑ヨガ、つし丸たいそうを実施したり食事の話をしています。

②健幸塾の普及啓発をした。

③健康まつりを地域コミュニティのイベントとコラボして実施できた。

多くの市民に健康づくりの大切さを知っていただくきっかけを作る働きかけ（**動機付け**）と、健康づくりの**習慣化**は、健幸塾の活用で支援できる可能性を感じることができた。



健幸塾	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
開催回数	17 回	16 回	18 回
活動人数	100 人	70 人	100 人
参加者数	1,316 人	1,300 人	1,350 人

担当課・協力機関

医師会・歯科医師会・薬剤師会
 地域コミュニティ・健康推進課・保険年金課
 社会教育課・市民協働課・協会けんぽ
 社会福祉協議会・糖尿病予防し隊
 元気でいよう会・健康づくりリーダー
 食生活改善推進員・介護予防ボランティア

指標の状況

項目	ベースライン値	直近値
食生活改善推進員の増加	19 人	17 人
健康づくりリーダーの増加	21 人	26 人
元気でいよう会の増加	29 人	28 人
糖尿病予防し隊の増加	22 人	31 人
認知症予防のボランティアの増加	60 人	80 人
健幸塾実施回数の増加	新規	18 回

課題

- 開催数、人数、参加者数が横這いのため、例年の繰り返しとなっている
- 新しい生活様式で、大人数のイベントは実施されない。
- ボランティアの数の確保

例年のイベントへ参加、サロン等からの依頼があり、健幸塾の回数は維持しているが、環境の変化で令和 2 年度は減少が確実である。状況にあわせ、地域のWAの規模を小さくし、家族単位・少人数でのWAへの異なるアプローチと、ボランティアの数の維持・増加が必要である。

健康を意識した生活に、新しい生活様式を取り入れ、市民のWAを再構築する

優先課題（令和2年度から令和7年度）

いかなる環境下でも安心して取り組める健康づくりを習慣化する

思い

現状の活動が継続でき、各地域で活動するボランティアが増え、活動内容も多様化しているとよい。感染対策をして新しい生活様式でイベントを実施できたらいい。

今後の取組：達成事業は継続実施、未達成の事業は継続取組、新たに取り組む事業は「新規」として加えました。

事業（課・関係機関）	環境整備に関すること
短期（平成28年度から平成30年度） 乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の各世代に応じた健康施策の立案・実施 中期（平成30年度から令和2年度） 成人期、特に働く世代へのアプローチ 長期（令和2年度から令和7年度） 乳幼児期から高齢期まで切れ目ない施策の展開	短期（平成28年度から平成30年度） 世代間交流を通じた健康づくりを実施する場の確保及びモデル事業の実施 中期（平成30年度から令和2年度） 世代間交流の場において「健康の大切さを発信」する仕組みづくり 長期（令和2年度から令和7年度） 地区ごとに、世代間交流の場が確保でき健康づくりに関する施策が充実
市民協働の取組	関係機関等のコラボ
短期（平成28年度から平成30年度） 市民団体、ボランティア間の連携拡充 達成 中期（平成30年度から令和2年度） ウォーキングコースのマップ作成 長期（令和2年度から令和7年度） 市民団体の活動の拡充及び地区単位化 新規 地域密着型のボランティア活動	短期（平成28年度から平成30年度） 関係機関の協力による出前講座の充実 達成 中期（平成30年度から令和2年度） 働く世代の運動への動機づけの仕組みづくり 長期（令和2年度から令和7年度） 関係機関の協力による地域の行事の充実 自分に合う健康教室を見つけることのできるネットワークづくり

※達成！P17 参照

4 取組事項

達成内容

項 目	内 容
ハイリスク向け重症化予防講座の実施	平成28年度より 腎臓病のハイリスク者を対象とした栄養講座実施。
ボランティアによる受診勧奨	平成28年度より ボランティア（糖尿病予防し隊）が、イベント等で健診受診勧奨を実施。
協会けんぽと連携した受診勧奨	平成27年より 組合員へのがん検診の受診勧奨を同封。
健康まつりの地区開催化	令和元年度より コミュニティイベントで健康まつり同時開催。 医師会・歯科医師会・薬剤師会も協力。
医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力によるコミュニティ催事への健康ブースの出展	
世代間交流を通じた健康づくりを実施する場の確保及びモデル事業の実施	平成29年度より 東コミュニティにより、世代間交流の場「ほっこり長屋」実施。
ボランティアによるつし丸たいそう等の普及	平成29年度より ボランティア（健康づくりリーダー）による出前講座健幸塾で普及活動実施。 令和2年度 クローバーテレビで普及啓発。
商工会議所、協会けんぽ等、事業所単位での健康マイレージへの参加の促進	平成27年度より 協会けんぽと協定締結、 平成28年度より
商工会議所、協会けんぽ等、事業所単位での健康講座の実施	事業所で、健康マイレージ、出前講座、健幸塾を実施。
市民団体、ボランティア間の連携拡充	平成29年度より ボランティアによる地域への出前講座「健幸塾」の開始。
関係機関の協力による出前講座の充実	令和元年度に 津島市生活支援サービス協議体（高齢介護課・社会福祉協議会・包括支援センター）主催の健康講座を健康づくりボランティアが受託し実施。

5 経年推移

項目	対象	出典	単位	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年 (中間評価 目標値)	中間評価増減率/ 判定	令和2年	令和7年 (最終評価)	
健康寿命の延伸	男性	KDB	歳			65.5	→	65.5					変更	E			
	女性					67.4	→	67.4						E			
平均余命の延伸(男)	男性	KDB	歳									81.3				増加	
平均余命の延伸(女)	女性												86.9	新規項目 につき 評価なし			増加
平均自立期間の延伸(男)	男性												78.6				増加
平均自立期間の延伸(女)	女性												81.1				増加
がん検診の受診率の 向上	胃がん	津島の 保健	%	19.2	16.1	16.5	17.1	18.0	17.1	16.6	16.9	15.1	30	-15.5	D		40
	肺がん			32.7	27.5	28.7	30.4	32.6	32.1	33.1	32.7	32.5	40	21.9	B		40
	大腸がん			32.5	26.7	27.9	29.6	32.7	29.2	28.9	28.3	28.2	40	-13.5	D		40
	子宮頸がん			15.0	17.5	8.9	9.7	9.9	8.5	7.0	6.1	6.2	20	-34	D		40
	乳がん			9.5	8.3	8.2	10.4	11.8	11.4	8	8.2	7.8	20	-27.1	D		40
メタボ該当者の減少	40-74歳	特定健 診・特定 保健指導 実施結果 報告(AI Cube帳 票)	人	20.7	21.6	19.6	19.3	19.7	20.4	20.9	21.4	22.2	減少	増加	C		減少
メタボ予備群の減少	40-74歳			9.2	8.9	10.0	11.0	10.3	10.8	9.9	11.1	11.2	減少	増加	C		減少
特定健診の実施率 の向上	40-74歳			33.9	35.7	38.1	39	39.7	40.6	41.6	41.5	42.1	44	62	B		上昇
特定保健指導の実施率 の向上	40-74歳			8.3	13.4	6.1	11.2	9.6	11.0	12	11.1	8.3	上昇	変化なし	C		上昇
人工透析新規導入患者 数の減少		愛知腎臓 財団(毎 年11月発 行)	人	17	16	13	20	14					変更	横ばい	E		
人工透析新規導入患者 数(糖尿病性腎症によ る)の減少				7	6	7	7	9						減少	E		
透析患者 人口1万人比	人口1万人比			27.4	26.4	26.0	28.4	27.6				27.4		県と同等	変化なし	C	
人口透析患者の増加の 抑制												169		新規項目に つき 評価なし			
糖尿病保有者数の増加 の抑制	男性	AI Cube (5月デー タ抽出)	人	959	1,096	1,105	1,159	1,186	1,150	1,051	1,014	963	横ばい	抑制	B		抑制
	女性			998	1,030	1,028	1,106	1,059	970	959	908	903	横ばい	抑制	B		抑制
自殺者の減少 (人口10万人当たり)		愛知県衛生 年報(毎年3 月発行)	津島の 保健	16.9	9.3	26.6	17.4	6.3	15.9	14.4	25.8		県と同等	県と同等	C		県と同等
健康づくりに関する ボランティア 会員数の増加	食生活改善推進員			20	19	18	15	19	19	19	18	17	30	-18.2	C		40
	健康づくりリーダー						19	21	24	24	26	26	30	55.6	B		40
	元気でいよう会					29	29	31	33	37	28	60	-3.2	C		90	
	糖尿病予防防し隊					20	22	25	25	30	31	45	39.1	B		70	
認知症予防					51	60	60	75	75	80	75	133.3	A		90		
運動習慣(居住地ごと)	津島市男性	健康日本 21あいち 新計画 「資料編」	%	31.5	29.6	33.1	30.7	28.7	29.0				35.0	-70.3	D		40.0
	津島市女性			29.4	29.9	30.7	32.1	30.1	30.3					30.0	143.3	A	
身体活動(居住地ごと)	津島市男性	%	38.5	37.3	41.5	39.7	38.5	38.8					40.0	18	B		45.0
	津島市女性		43.4	42.3	44.0	44.1	42.2	42.3					45.0	-66.2	D		50.0
朝食欠食(居住地ごと)	津島市男性	%	13.3	12.9	13.4	15.2	15.5	16.1					15.0	162.9	A		10.0
	津島市女性		6.5	5.6	6.0	6.1	7.0	7.6					10.0	31.7	B		5.0
飲酒者(居住地ごと)	津島市男性	%	65.9	61.9	64.4	64.9	64.4	65.3					60.0	10.5	B		55.0
	津島市女性		32.1	30.4	30.8	31.1	32.0	33.4					30.0	-61.9	D		25.0
睡眠(居住地ごと)	津島市男性	%	68.1	63.8	67.9	66.8	66.8	64.8					70.0	-173	D		75.0
	津島市女性		70.4	67.8	70.4	70.5	67.8	67.7					75.0	-58.7	D		80.0
健康意識(居住地ごと)	津島市男性	%	63.3	58.8	64.4	63.6	63.9	62.2					65.0	-67.6	D		70.0
	津島市女性		69.4	65.1	69.7	70.7	70.8	70.7					70.0	215	A		75.0
喫煙率(居住地ごと)	津島市男性	%	35.1	34.6	34.7	34.4	35.2	38.1					30.0	-59.2	D		25.0
	津島市女性		7.7	8.0	7.8	8.1	9.8	12.9					7.0	-739	D		5.0
8020該当者数の増加		津島の 保健	人	66	96	71	65	87	88	85	118	130	増加	増加	B		増加
歯科検診の受診者の増 加				104	79	60	72	81	57	225	161	237	増加	増加	B		増加
3歳児でう蝕がない者の 割合の増加		健康 かるて	%	87.1	89.7	84.7	90.6	86.4	87.4	90.5	91.3	88.1	93.0	-104.2	D		95.0
介護認定者における認 知症の割合の維持									7.7	8.2	9	9.2	新規項目に つき 評価なし			9.8	維持
健幸塾実施回数の増加		回							17回	16回	18回	新規項目に つき 評価なし				増加	
新規	見直し			ベースライン			18	直近値								斜字変更	

コラム③健診・検診の受診率向上は病気の発症予防・重症化予防の第一歩です。

受けよう健診（検診）・気づこう健康

特定健康診査の受診率が上がってきています。

H27	H28	H29	H30	R1
39.7%	40.6%	41.6%	41.5%	42.1%

保険年金課では、

- 令和2年度から、特定健診の受診料を全対象者を無料にしました。
- 未受診へ通知や電話で受診勧奨をしています。
令和2年度は未受診者のタイプ別の受診勧奨をし、受診率向上ができました。



検査値が正常範囲内でも、その変化が病気の発症予防に重要です。
自覚症状がない時点で病気を発見できるので、受診の継続が大切です。

がん検診・受けて今年も太鼓判

年間50人ぐらいの方にがんが見つかりました。

H27	H28	H29	H30	R1
58人	63人	51人	45人	53人



がんを防ぐための新12か条

- 1 たばこは吸わない
- 2 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
- 3 お酒はほどほどに
- 4 バランスのとれた食生活を
- 5 塩辛い食品は控えめに
- 6 野菜や果物は豊富に
- 7 適度に運動をする
- 8 適切な体重維持
- 9 ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 10 定期的ながん検診を
- 11 身体の異常に気が付いたら、すぐに受診を
- 12 正しいがん情報でがんを知ることから

健康は元気と病気の調和です。
健康になるのが目的ではなくて、
健康になって何がしたいかを大切にして
受診勧奨をすすめていきます。

資料編

1 津島市の現状 ～校区別に着目して

健康推進課保健師連絡会にて、地区診断を目的に、各データを検証した。

小学校区別にデータの収集が可能なものと、できないものがあった。データとあわせて、訪問や事業、コミュニティ協議会との関わり等日常の様々な業務から地域を見て地区の特性を共有した。

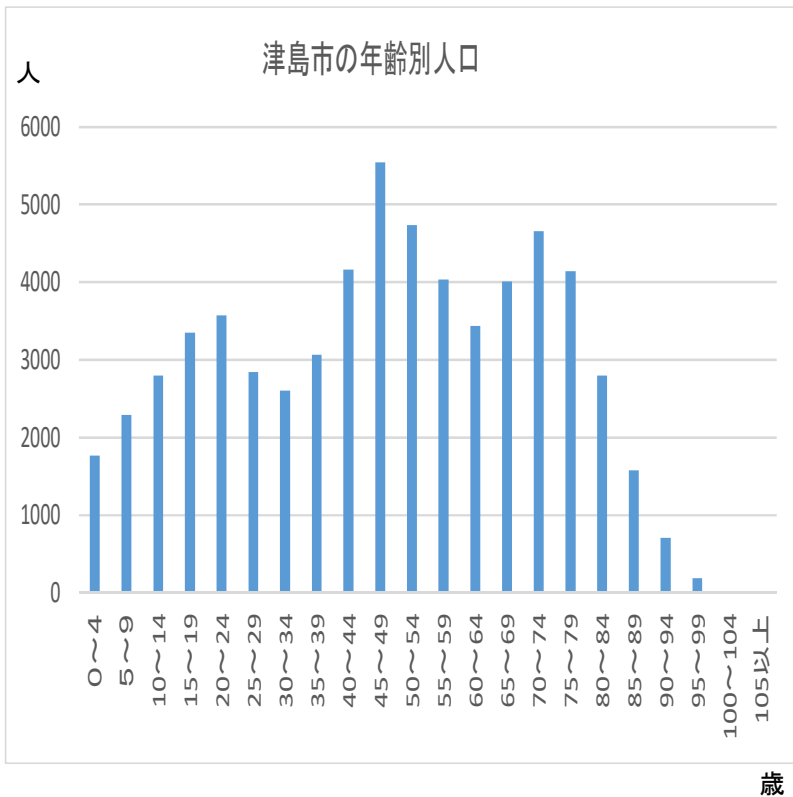
センター保健師会メンバー

保健師	上野真紀代 岡本知行 河野明美 仁科麻由子 瀬瀬ゆき 五藤真子 南咲喜 杉本里美 小柳知美 服部千鶴 藤井亜美
歯科衛生士	太田真由
管理栄養士	佐藤知子

健康推進課保健師連絡会実施内容

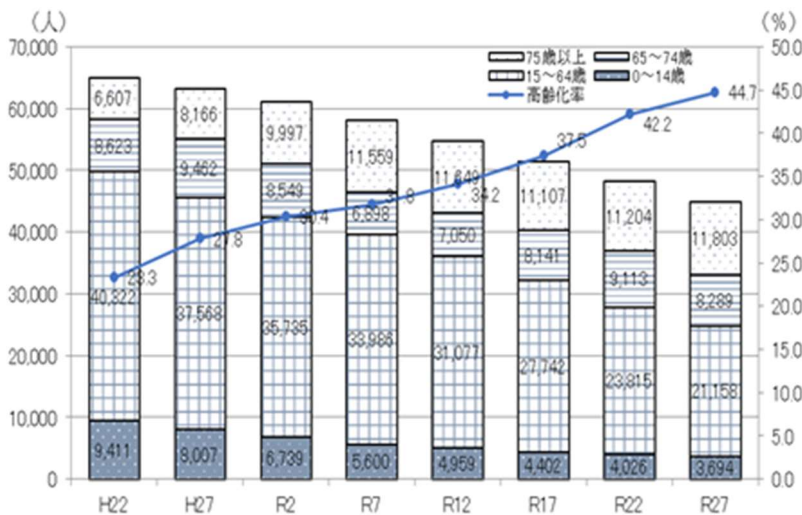
実施日	参加者数	内容
5月25日(月)	11人	人口構成について
6月22日(月)	11人	独居高齢者等について
10月15日(木)	11人	出生・周産期について
11月19日(木)	10人	病院・歯科・薬局等について
12月23日(水)	11人	幼保・子ども園、小中学校について

津島市



人口	62,241 人
世帯数	26,536 世帯
出生数	281 人
出生率	4.5%
死亡数	679 人
死亡率	1.09%
高齢者数	18,119 人
高齢者率	29.1%
高齢者の 独居数	4,599 人
独居率	25.3%
特定健診 受診率	42.1%
メタボ率	22.2%

人口の将来推計



外来医療費が多い疾病

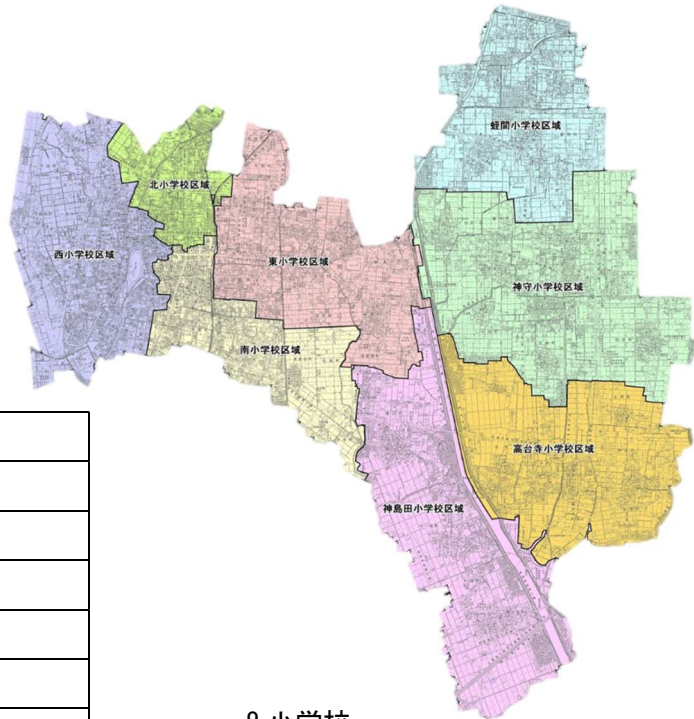
- 1位 内分泌 17.0%
- 2位 悪性新生物 15.6%
- 3位 循環器 11.4%

1件当たりの医療費

- 外来 20,870 円
- 入院 569,890 円
- 歯科 11,870 円

津島市の特徴

出生数は減少傾向で、人口は減少し、少子高齢化が加速すると推測される。外来医療費は生活習慣病に起因するものが多い。特定健診受診率は県平均を上回っている。治療中断者も多いと推測される。子どものころから生活習慣を調えること、働く世代から地域のつながりをもつことは、高齢者が安心して一人暮らしできることにつながる。世代間で笑顔広がる健康施策が重要である。



総合病院	1 件
医科	43 件
歯科	34 件
薬局	38 件
訪問介護ステーション	5 件
包括支援センター	3 件
居宅サービス	120 件
施設サービス	22 件
高齢者サロン	10 件
障がい者支援事業所	67 件

保育園	2 園
幼稚園	4 園
こども園	10 園
子育て支援センター	2 か所

大型店舗（売り場面積 1000 m ² 以上）	14 店舗
スーパー・ドラッグストア	11 店舗
公園	64 園
バス停（名鉄）	29 箇所
バス停（ふれあいバス）	83 箇所
駅（最寄り駅）	5 駅

8 小学校

	児童数	学級数
1 年生	396 人	14
2 年生	401 人	13
3 年生	437 人	14
4 年生	510 人	17
5 年生	521 人	18
6 年生	527 人	18
特別支援	93 人	28
合計	2,885 人	122

4 中学校

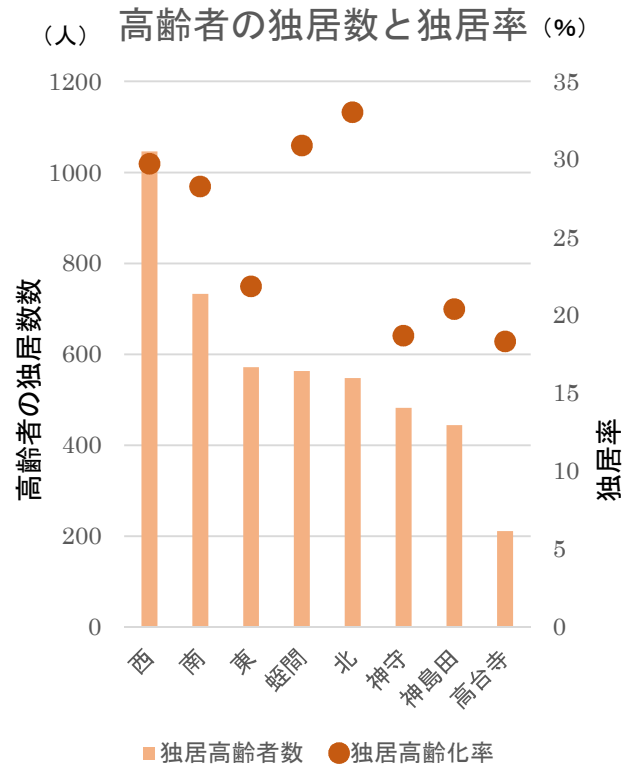
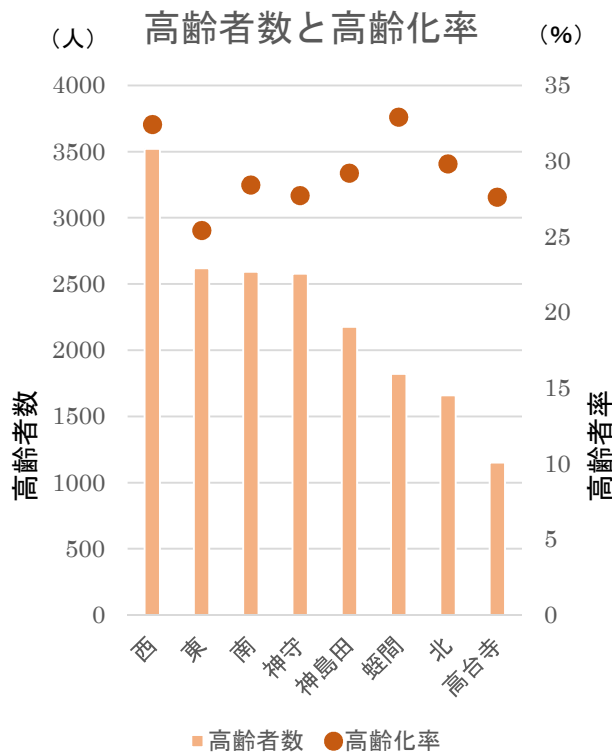
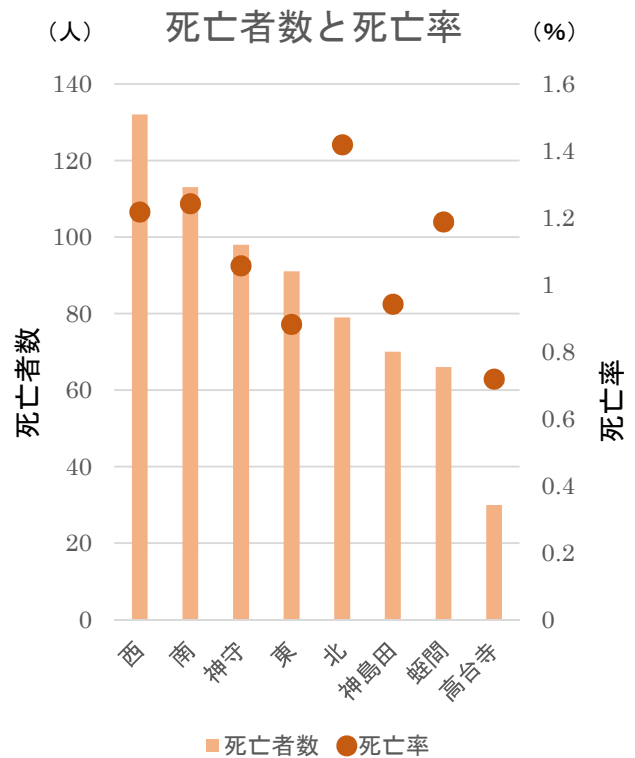
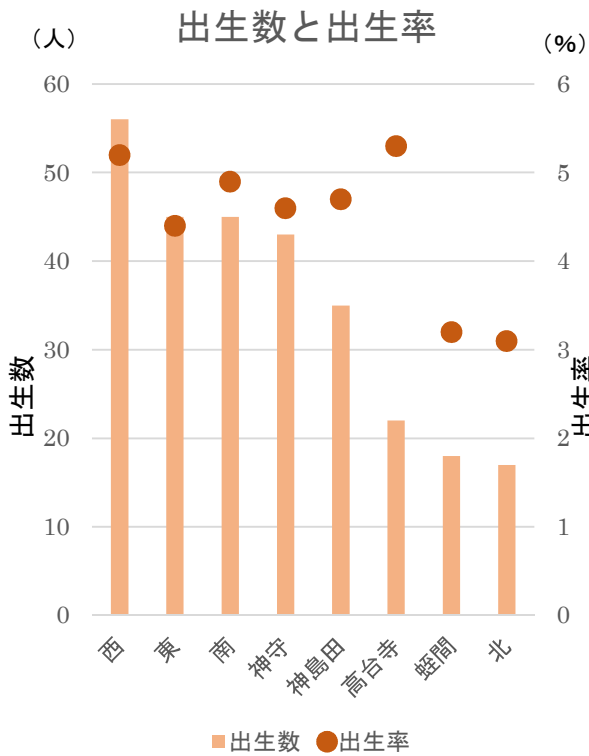
	生徒数	学級数
1 年生	551 人	17
2 年生	557 人	15
3 年生	531 人	14
特別支援	29 人	9
合計	1,668 人	55

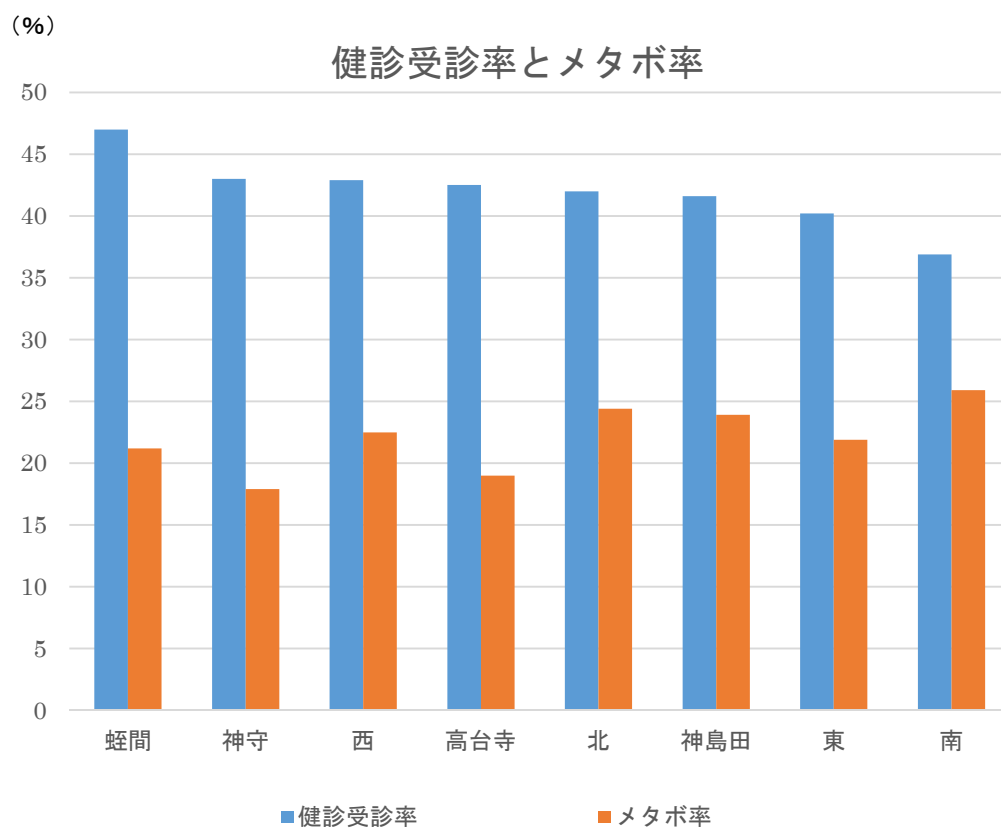
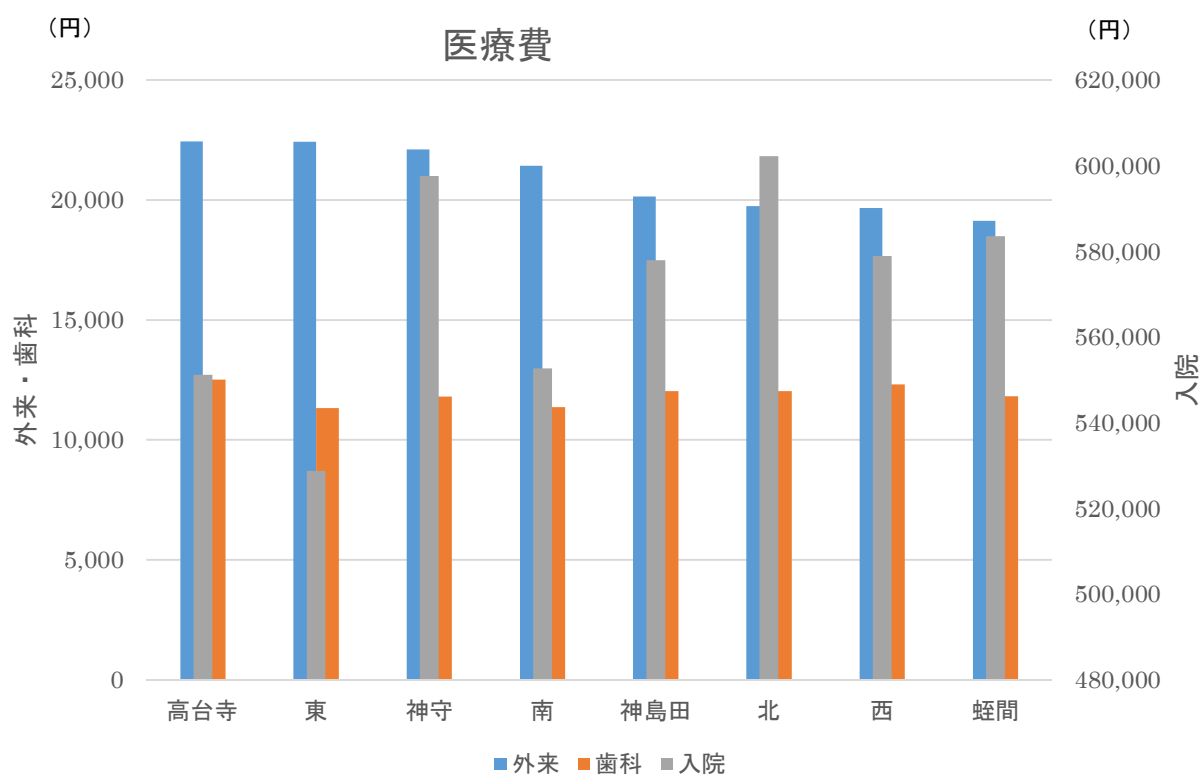
3 高校

データ根拠

人口（住民基本台帳：企画政策課/R2.1）、出生数・死亡数（人口動態総覧：あいちの人口）、高齢者数（高齢介護課/R2.1）、特定健診受診率・メタボ率（津島市：AI Cube/R1、校区：KDB/R1）医療費（KDB/R1）障がい者施設（県統計資料/R3.2）、大型店舗、スーパー・ドラッグストア（全国大型小売店総覧 2018i タウンページデータベース）

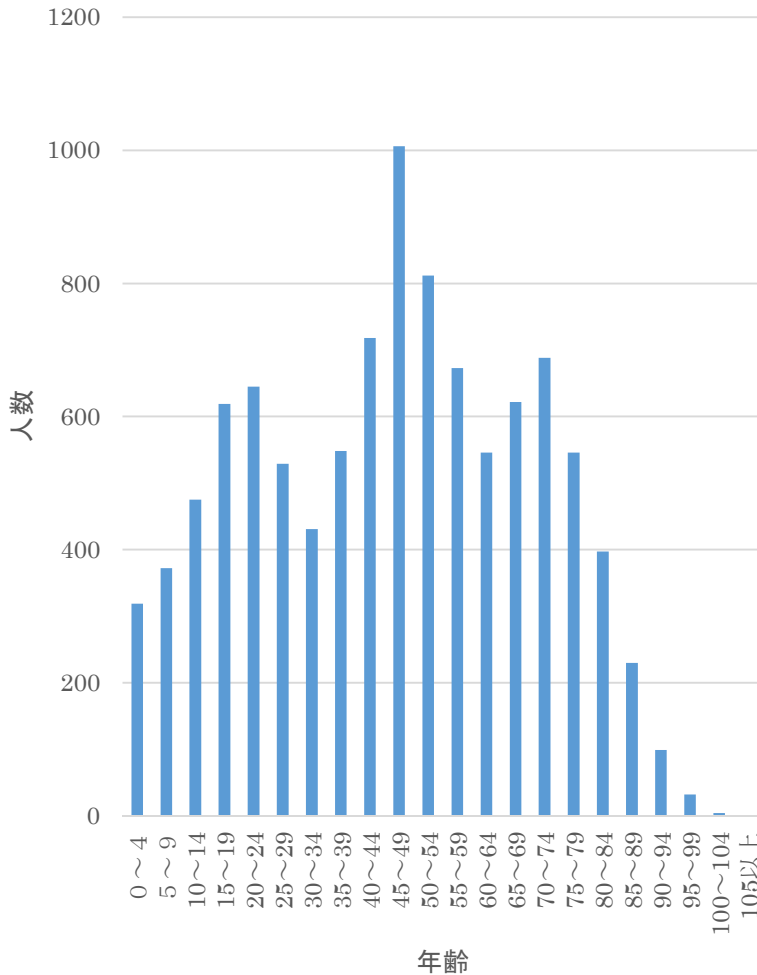
校区比較





東小学校区

人口構成（東小学校区）



人口	10,310 人	2 位
世帯数	4,434 世帯	2 位
出生数	45 人	2 位
出生率	4.4%	6 位
死亡数	91 人	4 位
死亡率	0.88%	7 位
高齢者数	2,618 人	2 位
高齢者率	25.4%	8 位
高齢者の 独居数	572 人	3 位
独居率	21.8%	5 位
特定健診 受診率	40.2%	7 位
メタボ率	21.9%	5 位

外来医療費が多い疾病

- 1 位 悪性新生物 15.9%
- 2 位 内分泌 14.5%
- 3 位 尿路性器 11.8%

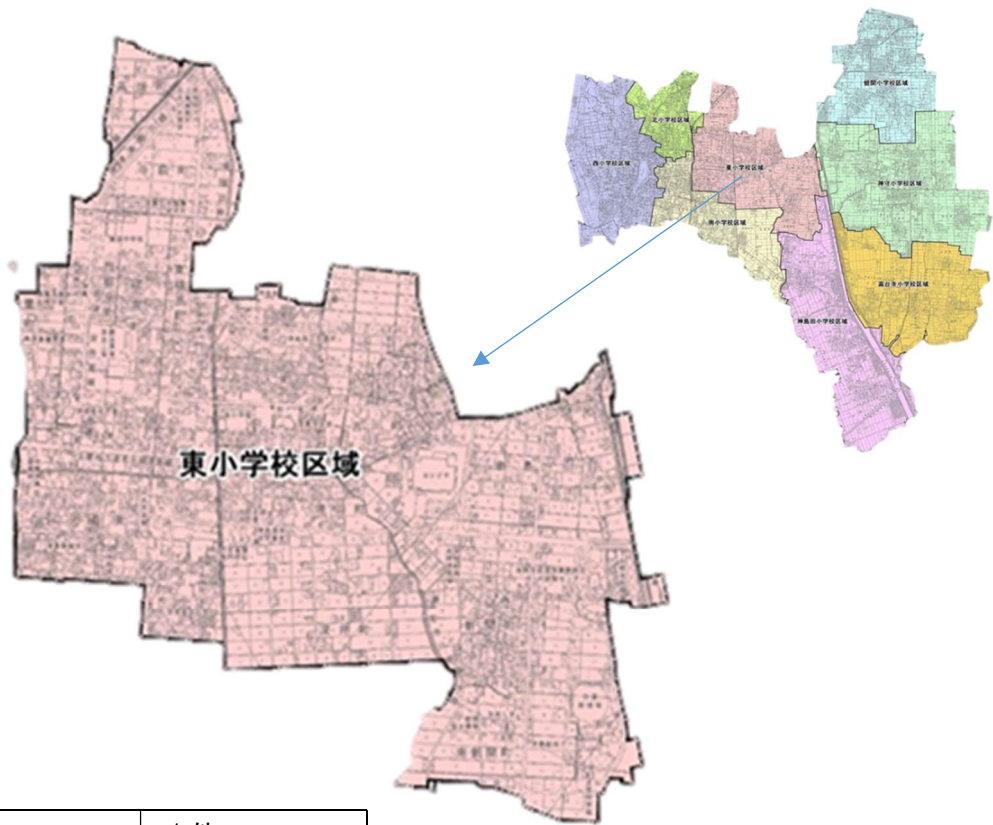
1件当たりの医療費

- 外来 22,430 円
- 入院 528,770 円
- 歯科 11,320 円

校区の特徴

東小学校区は、面積約 306ha で全市の 12.2% を占めている。令和 2 年 3 月 1 日現在、10,310 人、4,434 世帯で人口は微減、世帯は微増傾向である。人口構成は 2 層性であり、2040 問題を若い人が抱える地域である。また、若い人が少なく、支え手の減少が今後心配される。名鉄津島駅があり交通の便がよく、大型店舗も多い。津島市民病院があり、医療機関数、介護事業所、居宅サービス事業所も多い。

校区の東側は、東公園、市営球場など、公共のスポーツ施設があり、スポーツやウォーキングの環境が整っている。



総合病院	1 件
医科	16 件
歯科	11 件
薬局	12 件
訪問介護ステーション	1 件
包括支援センター	1 件
居宅サービス	32 件
施設サービス	5 件
障がい者支援事業所	15 件

幼稚園	2 園
こども園	2 園

大型店舗（売り場面積 1000㎡以上）	6 店舗
スーパー・ドラッグストア	1 店舗
公園	7 園
バス停（名鉄）	7 箇所
バス停（ふれあいバス）	15 箇所
駅（最寄り駅）	1 駅

東小学校

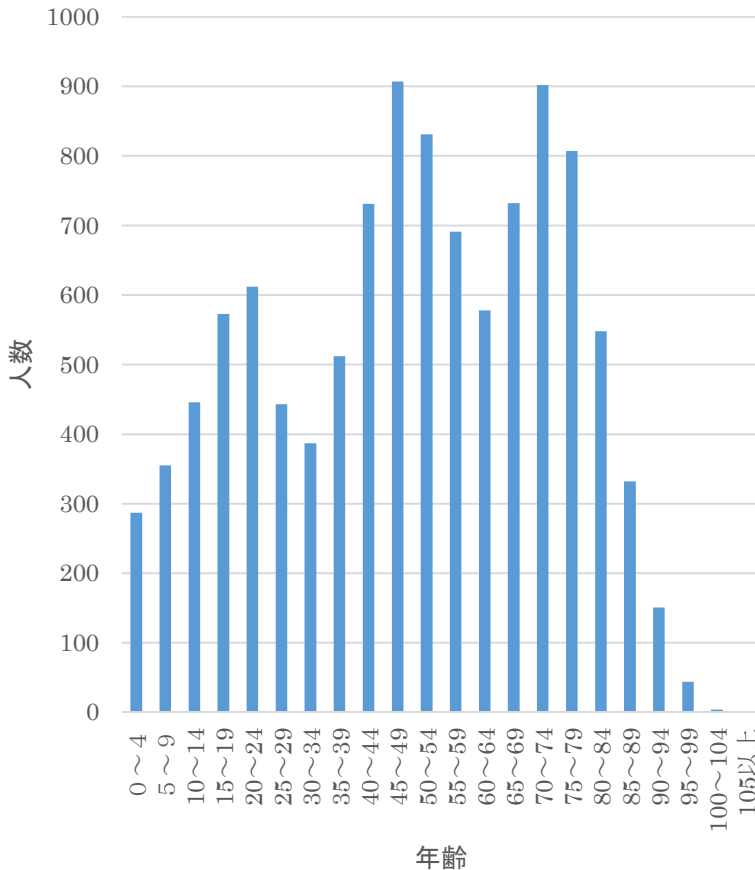
	児童数	学級数
1 年生	58 人	2
2 年生	70 人	2
3 年生	58 人	2
4 年生	94 人	3
5 年生	82 人	3
6 年生	84 人	3
特別支援	13 人	4
合計	459 人	19

藤浪中学校

	生徒数	学級数
1 年生	136 人	4
2 年生	157 人	4
3 年生	137 人	4
特別支援	5 人	2
合計	435 人	14

西小学校区

人口構成（西小学校区）



人口	10,839人	1位
世帯数	4,624世帯	1位
出生数	56人	1位
出生率	5.2%	2位
死亡数	132人	1位
死亡率	1.22%	3位
高齢者数	3,520人	1位
高齢者率	32.5%	2位
高齢者の 独居数	1,046人	1位
独居率	29.7%	3位
特定健診 受診率	42.9%	3位
メタボ率	22.5%	4位

外来医療費が多い疾病（KDB）

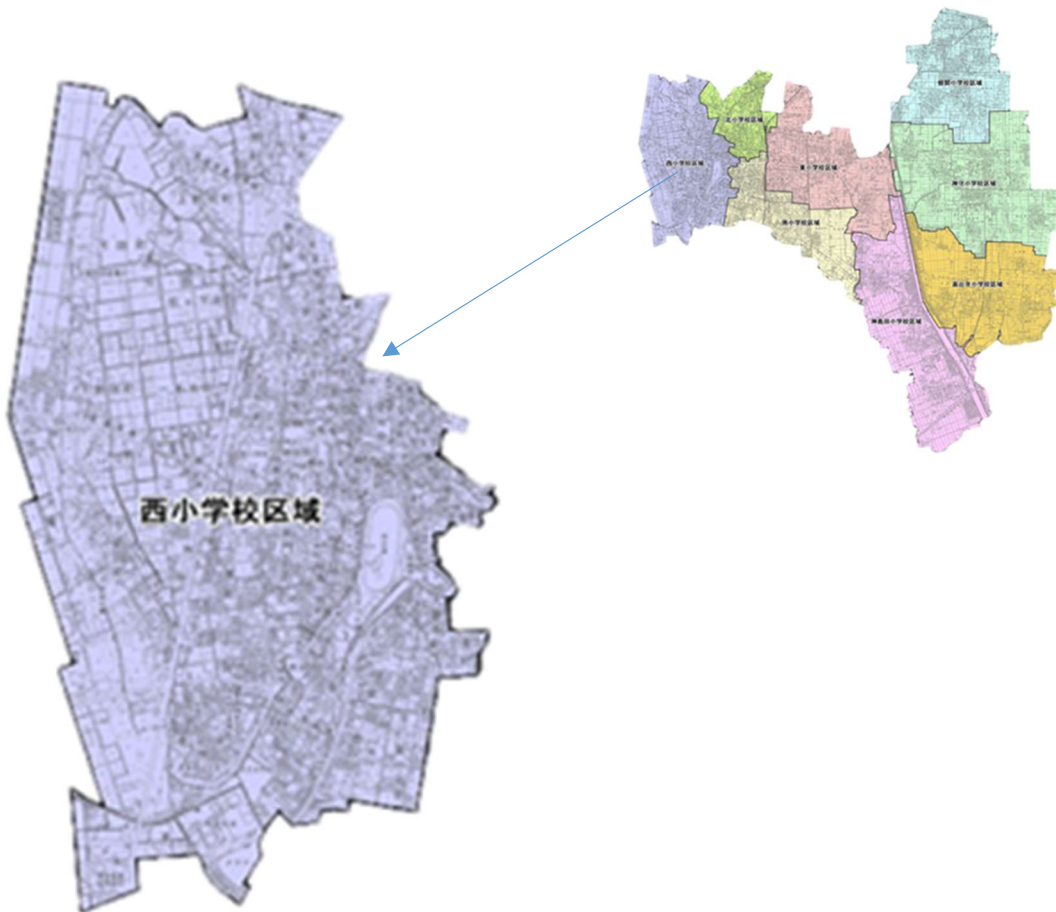
- 1位 内分泌 19.1%
- 2位 悪性新生物 13.4%
- 3位 循環器 12.4%

1件当たりの医療費

- 外来 19,660円
- 入院 578,940円
- 歯科 12,320円

校区の特徴

西小学校区は、面積約330haで全市の13.2%を占めている。令和2年3月1日現在、10,839人、4,624世帯で人口、世帯とも市内では一番多いが、総数は微減傾向である。高齢化率が高く、人口構成は2層性であり、2040問題を若い人が抱える地域である。出生数・率とも高く、新しい家と古い家が混在している。高齢者の独居率は高いが、古くからの住宅も多く、出歩ける場も多いため、一人暮らしが可能と推測される。津島神社、天王川公園など歴史的な建物も多く、寺院は密集している。西地区子育て支援センター、子ども園が点在しており、子育て環境は充実している。



医科	6 件
歯科	2 件
薬局	7 件
居宅サービス	19 件
施設サービス	4 件
障がい者支援事業所	18 件

こども園	2 園
子育て支援センター	1 か所

大型店舗（売り場面積 1000 m ² 以上）	1 店舗
スーパー・ドラッグストア	2 店舗
公園	7 園
バス停（ふれあいバス）	10 箇所

西小学校

	児童数	学級数
1 年生	67 人	2
2 年生	65 人	2
3 年生	83 人	3
4 年生	68 人	2
5 年生	87 人	3
6 年生	78 人	2
特別支援	11 人	2
合計	459 人	16

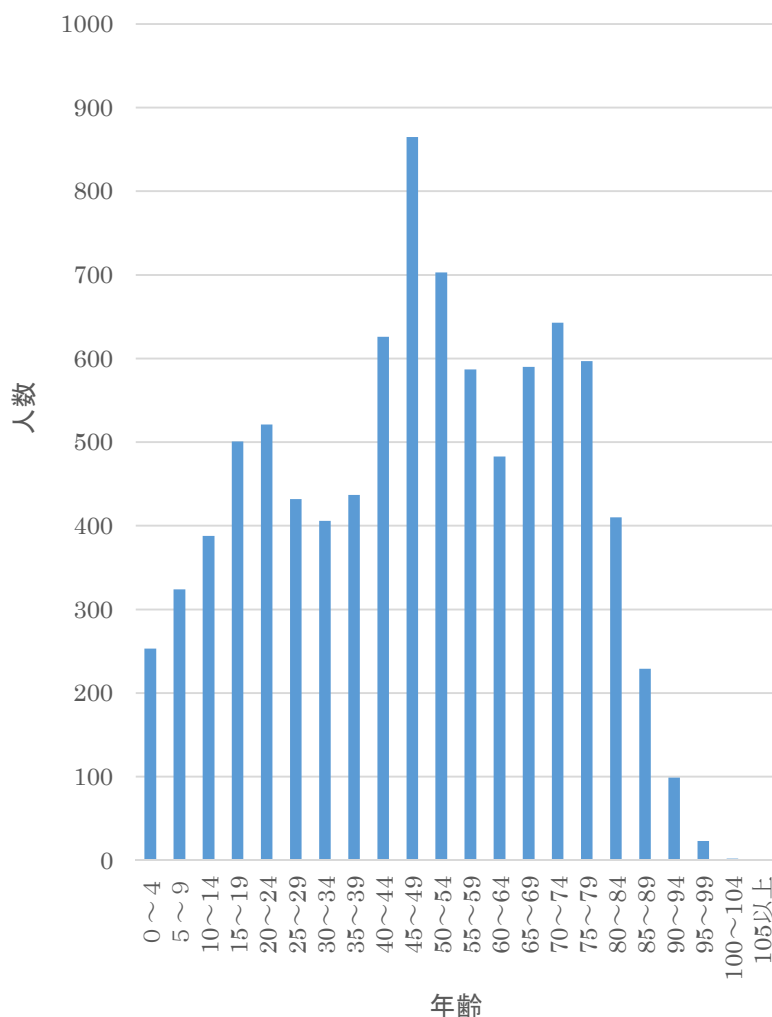
天王中学校

	生徒数	学級数
1 年生	104 人	3
2 年生	129 人	4
3 年生	118 人	3
特別支援	6 人	2
合計	357 人	12

津島高校

南小学校区

人口構成（南小学校区）



人口	9,097 人	4 位
世帯数	4,036 世帯	3 位
出生数	45 人	2 位
出生率	5.0%	3 位
死亡数	113 人	2 位
死亡率	1.24%	2 位
高齢者数	2,593 人	3 位
高齢者率	28.5%	5 位
高齢者の 独居数	733 人	2 位
独居率	28.3%	4 位
特定健診 受診率	36.9%	8 位
メタボ率	25.9%	1 位

外来医療費が多い疾病 (KDB)

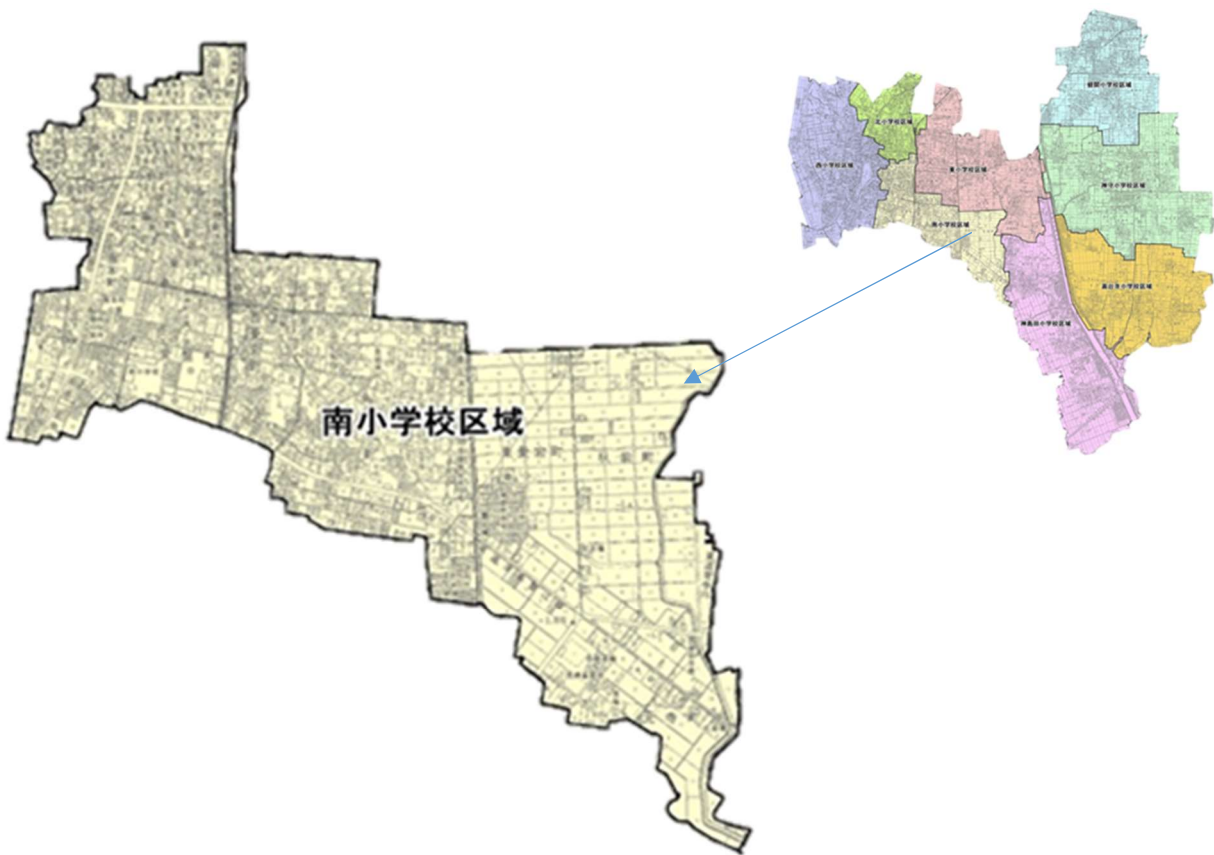
1 位	内分泌	16.4%
2 位	循環器	11.0%
3 位	悪性新生物	11.3%

一件当たりの医療費

外来	21,430 円
入院	552,730 円
歯科	11,370 円

校区の特徴

南小学校区は、面積約 212ha で全市の 8.5%を占めている。令和 2 年 3 月 1 日現在、9,097 人、4,036 世帯で人口は減少、世帯は微増傾向である。人口構成は 2 層性であり、2040 問題を若い人が抱える地域である。校区の西側に宅地が広がり、東側は田畑が多い。公園が多く、保育園、幼稚園こども園が各 1 園ずつある。



医科	6 件
歯科	4 件
薬局	7 件
居宅サービス	19 件
施設サービス	2 件
障がい者支援事業所	9 件

保育園	1 園
幼稚園	1 園
こども園	1 園

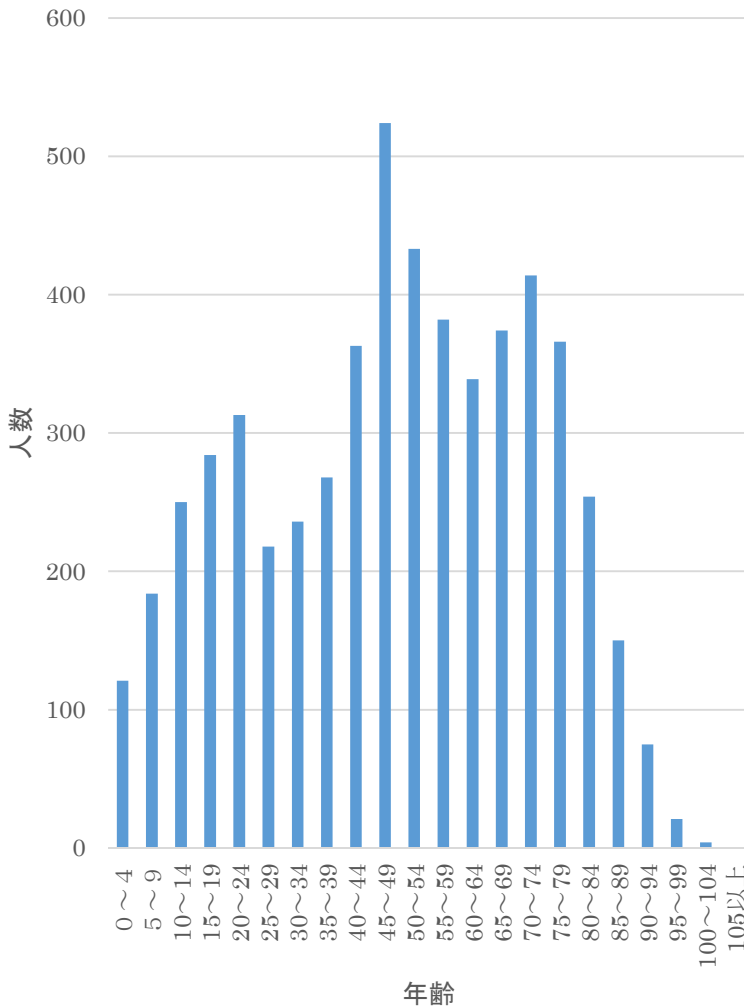
大型店舗（売り場面積 1000 m ² 以上）	2 店舗
スーパー・ドラッグストア	3 店舗
公園	14 園
バス停（名鉄）	5 箇所
バス停（ふれあいバス）	5 箇所
駅（最寄り駅）	1 駅

南小学校

	児童数	学級数
1 年生	58 人	2
2 年生	56 人	2
3 年生	69 人	2
4 年生	72 人	2
5 年生	62 人	2
6 年生	82 人	3
特別支援	10 人	2
合計	459 人	15

北小学校区

人口構成（北小学校区）



人口	5,568 人	6 位
世帯数	2,603 世帯	6 位
出生数	17 人	8 位
出生率	3.0%	8 位
死亡数	79 人	5 位
死亡率	1.41%	1 位
高齢者数	1,659 人	7 位
高齢者率	30.0	3 位
高齢者の 独居数	548 人	5 位
独居率	33.0%	1 位
特定健診 受診率	42%	5 位
メタボ率	24.4%	2 位

外来医療費が多い疾病（KDB）

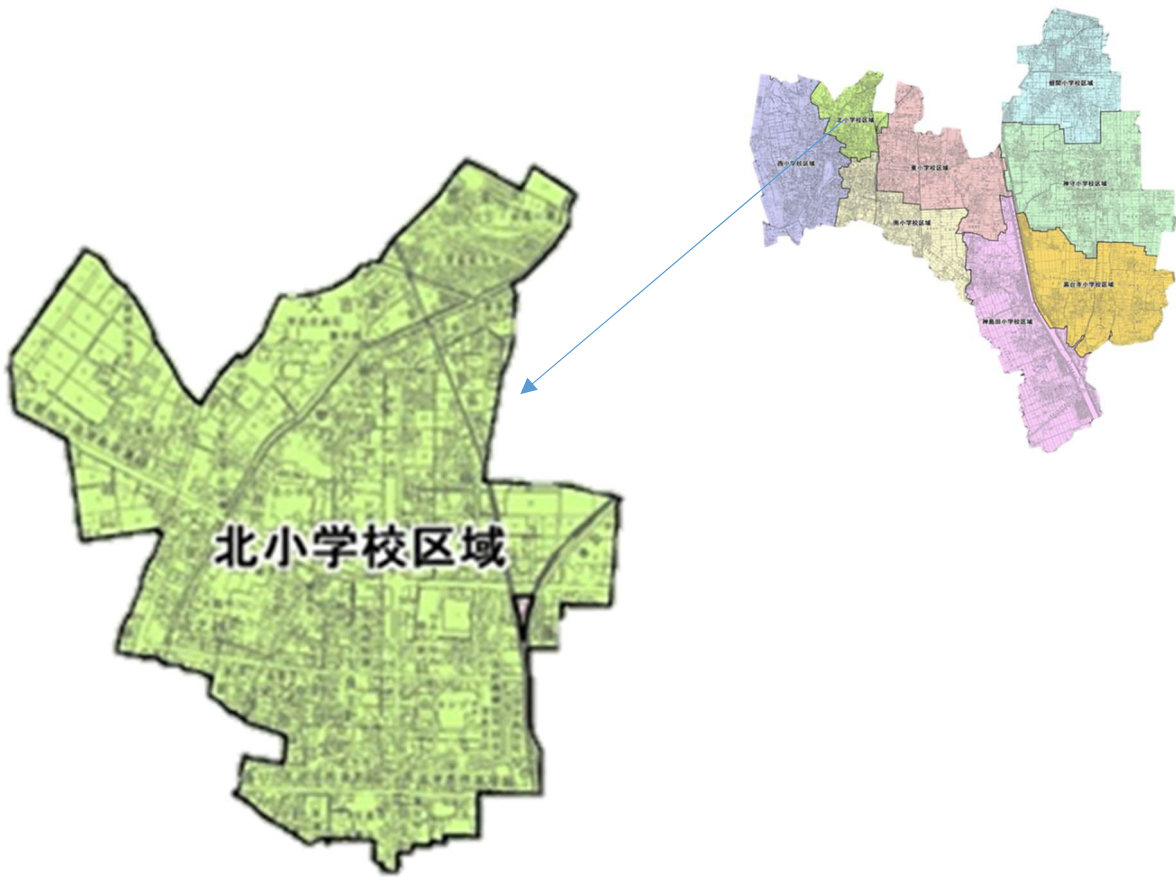
- 1 位 内分泌 19.3%
- 2 位 悪性新生物 16.5%
- 3 位 循環器 13.1%

一件当たりの医療費

- 外来 19,740 円
- 入院 602,260 円
- 歯科 12,030 円

校区の特徴

北小学校区は、面積約 109ha で全市の 4.3%を占めている。令和 2 年 3 月 1 日現在、9,097 人、2,603 世帯で人口は減少、世帯は微増傾向である。人口構成は 2 層性であり、2040 問題を若い人が抱える地域である。高齢化率は高く、高齢者の独居率も高い。名鉄津島線と尾西線に囲まれ、宅地が全体に密集している。幹線道路以外は細い道や一方通行が多い。寺院が多く、古い町並みが並んでいる。



医科	4 件
歯科	7 件
薬局	3 件
居宅サービス	3 件
障がい者支援事業所	8 件

大型店舗（売り場面積 1000 m ² 以上）	3 店舗
スーパー・ドラッグストア	2 店舗
公園	3 園
バス停（名鉄）	1 箇所
バス停（ふれあいバス）	5 箇所
駅（最寄り駅）	1 駅

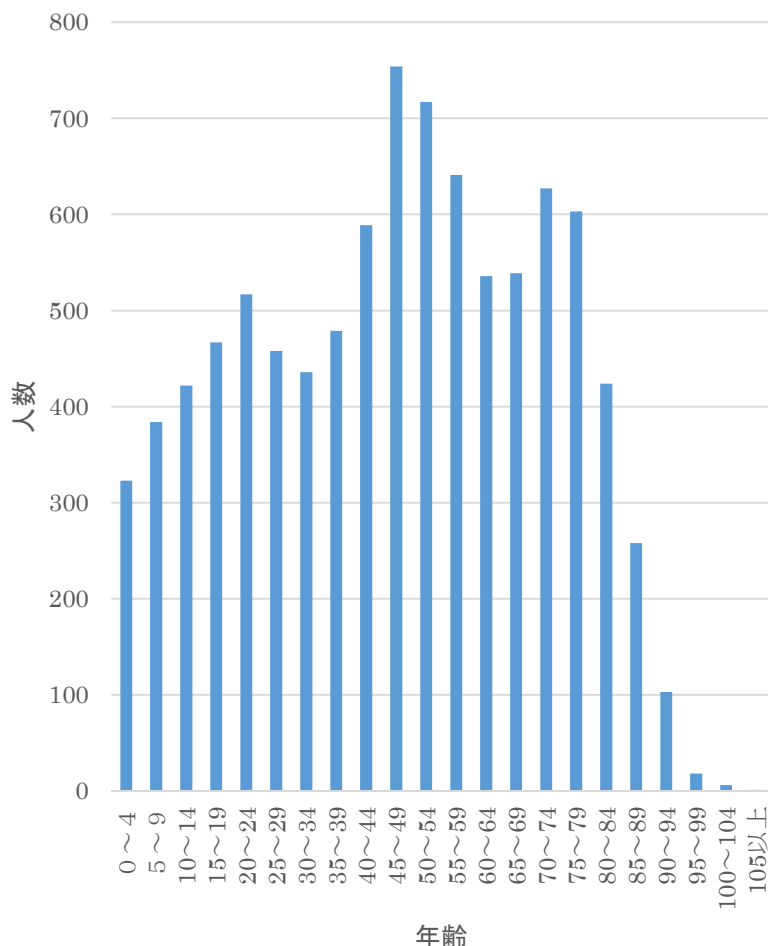
北小学校

	児童数	学級数
1 年生	32 人	1
2 年生	26 人	1
3 年生	31 人	1
4 年生	48 人	2
5 年生	48 人	2
6 年生	55 人	2
特別支援	7 人	3
合計	247 人	12

津島北高校

神守小学校区

人口構成（神守小学校区）



人口	9,267人	3位
世帯数	3,831世帯	4位
出生数	43人	4位
出生率	4.7%	5位
死亡数	98人	3位
死亡率	1.06%	5位
高齢者数	2,579人	4位
高齢者率	27.8	6位
高齢者の 独居数	482人	6位
独居率	18.7%	7位
特定健診 受診率	43%	2位
メタボ率	17.9%	8位

外来医療費が多い疾病（KDB）

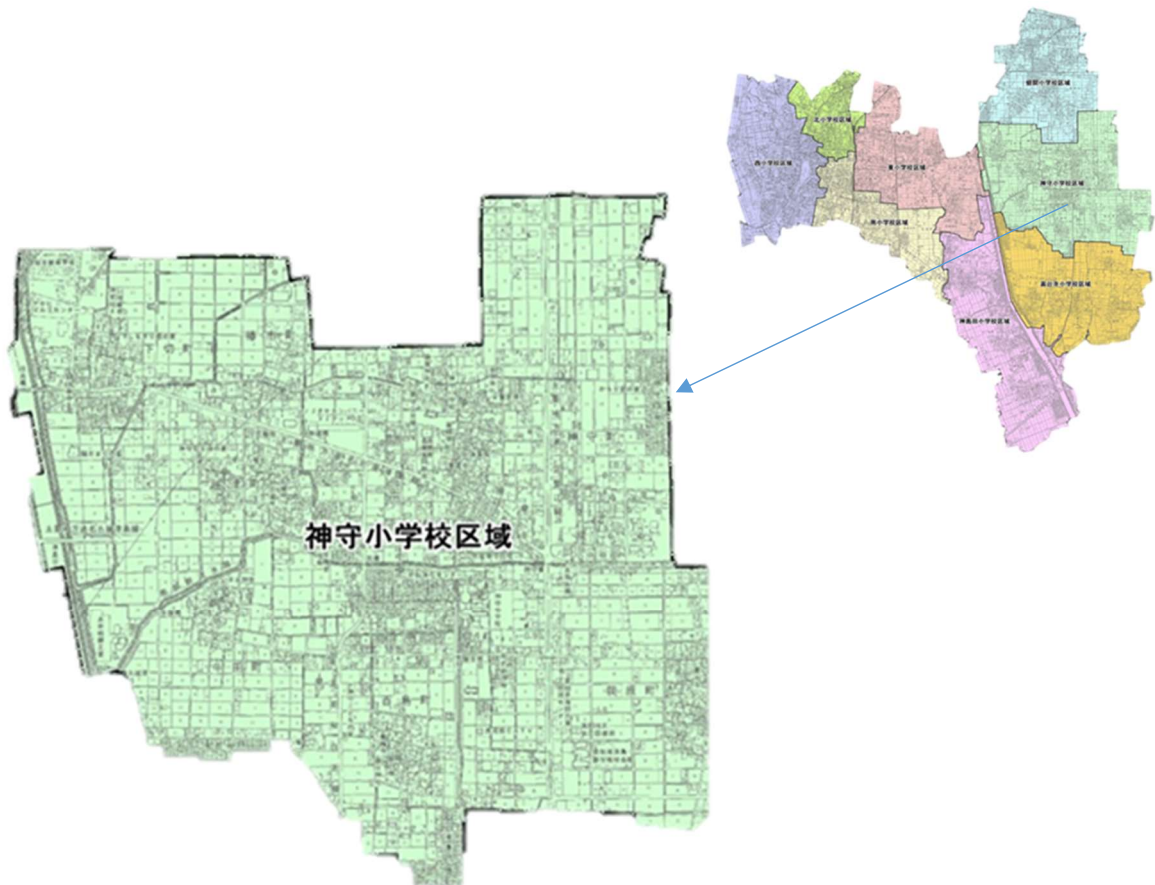
1位	悪性新生物	18.0%
2位	内分泌	15.5%
3位	循環器	10.8%

一件当たりの医療費

外来	22,110円
入院	597,570円
歯科	11,810円

校区の特徴

神守小学校区は、面積約474haで全市の18.9%を占めている。令和2年3月1日現在、9,267人、3,831世帯で人口は減少、世帯は増加傾向である。人口構成は2層性であり、2040問題を若い人が抱える地域である。出生数も多く、子育て世代も多い。名鉄バス路線が中心部を通っており、名古屋への交通のアクセスは良い。海部地区急病診療所や東地区子育て支援センターもあり、子育て世帯には安心できる環境が近くに整っている。



神守小学校

	児童数	学級数
1年生	66人	2
2年生	69人	2
3年生	74人	2
4年生	84人	3
5年生	87人	3
6年生	84人	3
特別支援	10人	4
合計	474人	19

神守中学校

	生徒数	学級数
1年生	179人	6
2年生	158人	4
3年生	158人	4
特別支援	5人	2
合計	500人	16

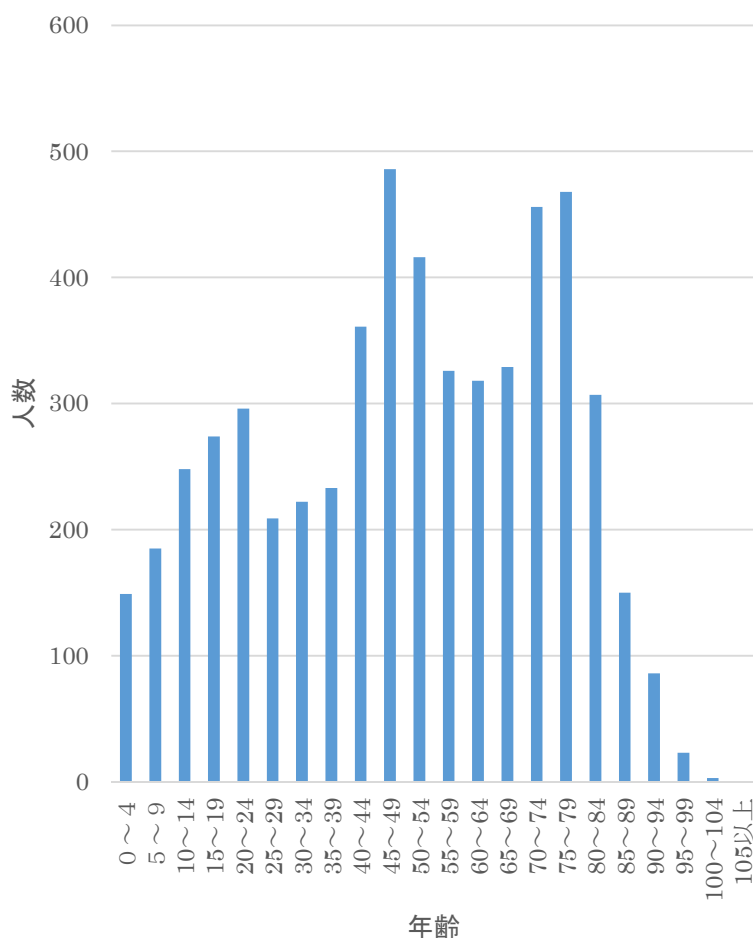
医科	6件
歯科	5件
薬局	6件
居宅サービス	11件
施設サービス	2件
障がい者支援事業所	7件

幼稚園	1園
こども園	1園
子育て支援センター	1園

スーパー・ドラッグストア	2店舗
公園	4園
バス停（名鉄）	7箇所
バス停（ふれあいバス）	14箇所

蛭間小学校区

人口構成（蛭間小学校区）



人口	5,556 人	7 位
世帯数	2,314 世帯	7 位
出生数	18 人	7 位
出生率	0.32%	7 位
死亡数	66 人	7 位
死亡率	1.19%	4 位
高齢者数	1,822 人	6 位
高齢者率	32.8	1 位
高齢者の 独居数	563 人	4 位
独居率	30.9	2 位
特定健診 受診率	47%	1 位
メタボ率	21.2%	6 位

外来医療費が多い疾病（KDB）

1 位	悪性新生物	16.3%
2 位	内分泌	16.3%
3 位	循環器	13.0%

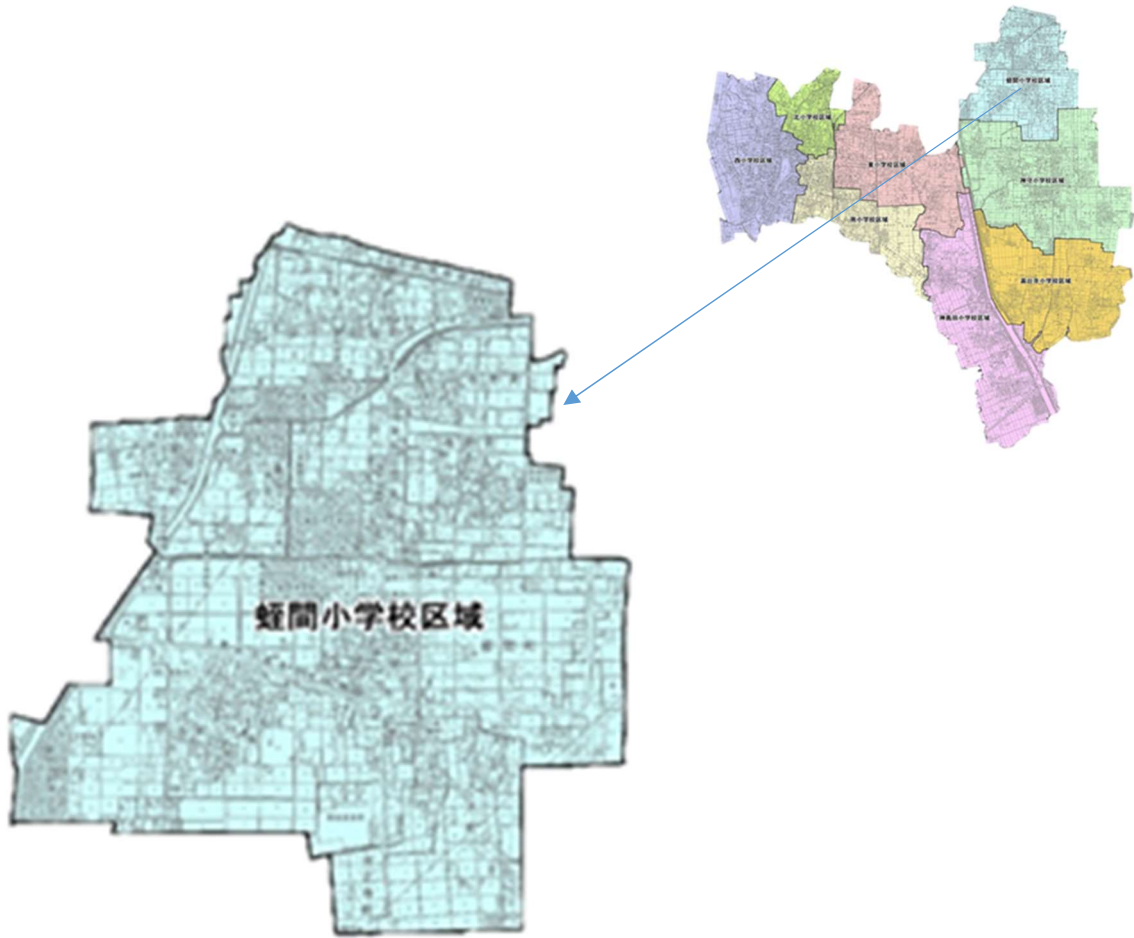
一件当たりの医療費

外来	19,130 円
入院	583,550 円
歯科	11,820 円

校区的特徴

蛭間小学校区は、面積約 289ha で全市の 11.5%を占めている。令和 2 年 3 月 1 日現在、5,950 人、2,314 世帯で人口は減少、世帯は増加傾向である。人口構成は 2 層性であり、2040 問題を若い人が抱える地域である。高齢化率が高く、独居率も高い。特定健診受診率は高く、メタボ率は低い。

名鉄青塚駅があり、名古屋へのアクセスがよい。



医科	2 件
歯科	3 件
薬局	1 件
居宅サービス	12 件
施設サービス	5 件
障がい者支援事業所	5 件

保育園	1 園
こども園	1 園

大型店舗（売り場面積 1000 m ² 以上）	1 店舗
公園	9 園
バス停（ふれあいバス）	8 箇所
駅（最寄り駅）	1 駅

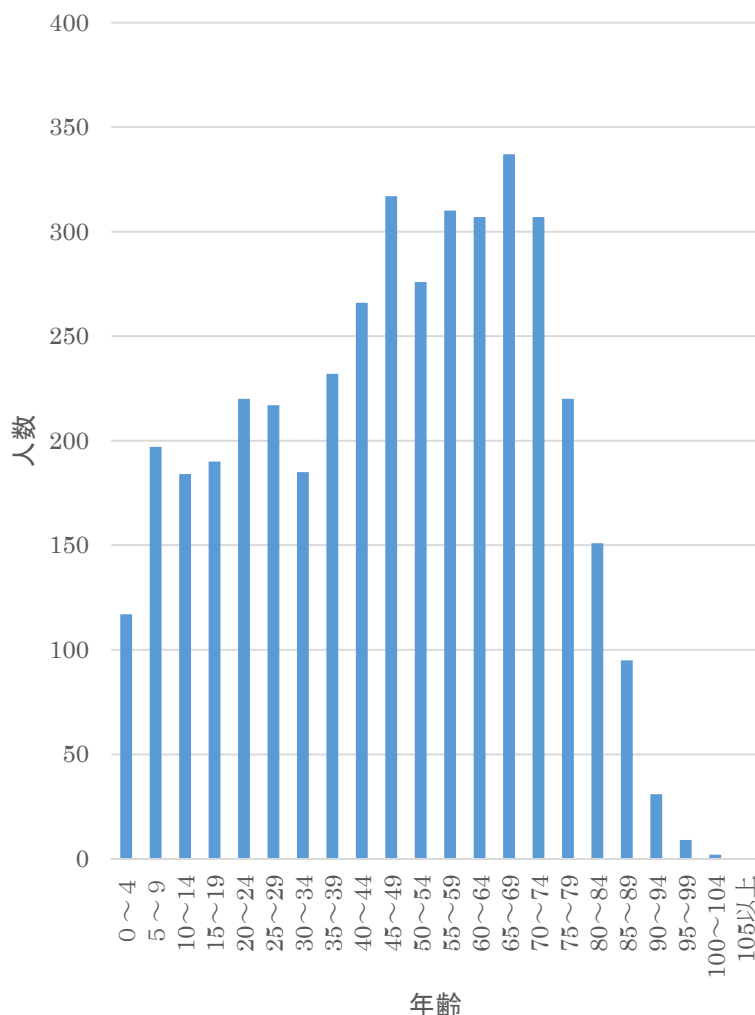
蛭間小学校

	児童数	学級数
1 年生	44 人	2
2 年生	29 人	1
3 年生	31 人	1
4 年生	38 人	1
5 年生	29 人	1
6 年生	60 人	2
特別支援	10 人	4
合計	241 人	12

津島東高校

高台寺小学校区

人口構成（高台寺小学校区）



人口	4,177人	8位
世帯数	1,683世帯	8位
出生数	22人	6位
出生率	5.3%	1位
死亡数	30人	8位
死亡率	0.71%	8位
高齢者数	1,152人	8位
高齢者率	27.5%	7位
高齢者の 独居数	211人	8位
独居率	18.3%	8位
特定健診 受診率	42.5%	4位
メタボ率	19%	7位

外来医療費が多い疾病（KDB）

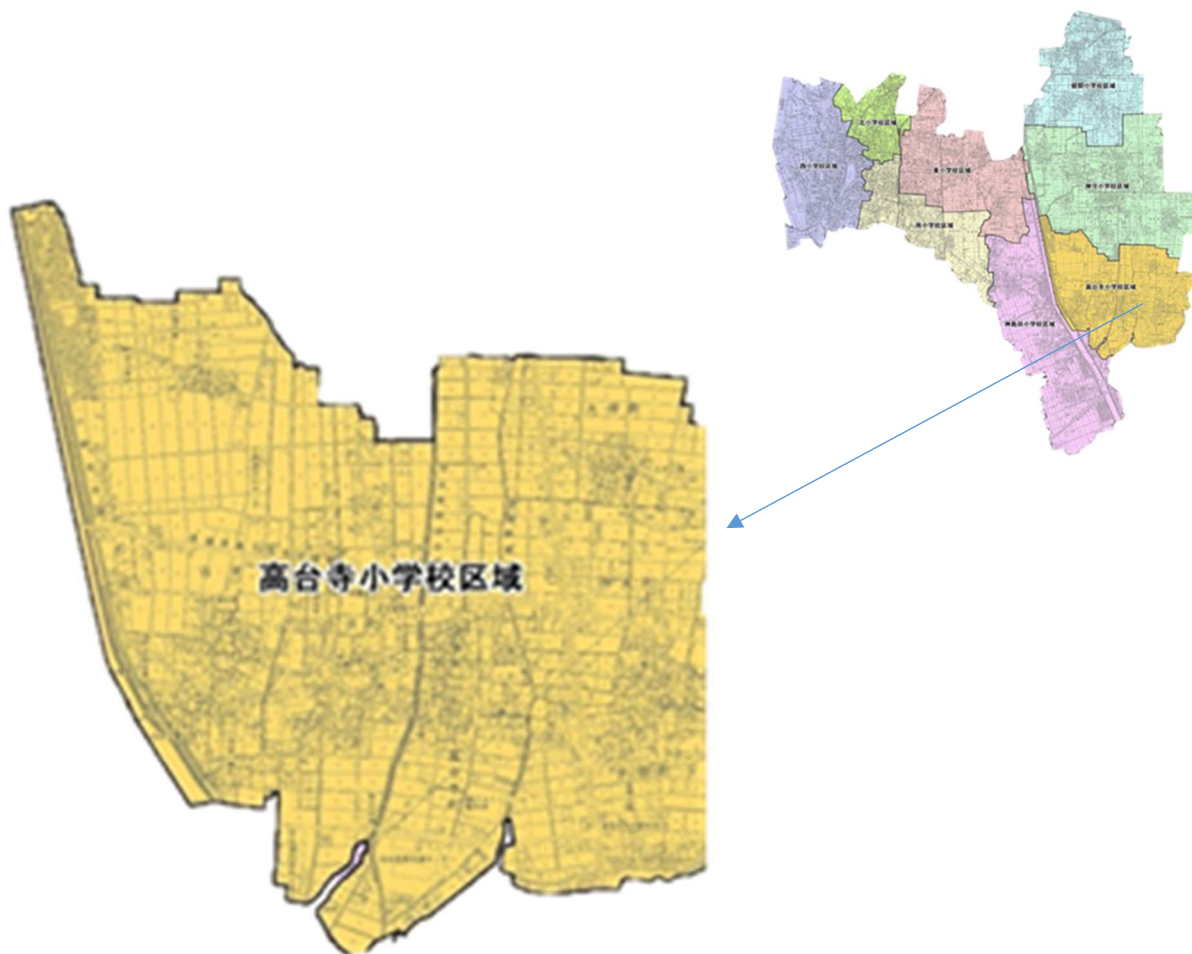
- 1位 悪性新生物 30.2%
- 2位 内分泌 15.3%
- 3位 循環器 10.0%

一件当たりの医療費

- 外来 22,440円
- 入院 551,220円
- 歯科 12,510円

校区の特徴

高台寺小学校区は、面積約369haで全市の14.7%を占めている。令和2年3月1日現在、4,177人、1,683世帯で人口は減少、世帯は増加傾向である。高齢化率、死亡率が低く、出生率が高いため、人口は少ないが、子育て世代の割合が高い。中央部に県道115線（津島七宝名古屋線）が横断しており、住宅地が多く密集しているが、北部・南部は田畑が多い。



医科	2 件
歯科	1 件
薬局	1 件
居宅サービス	1 件

こども園	1 園
------	-----

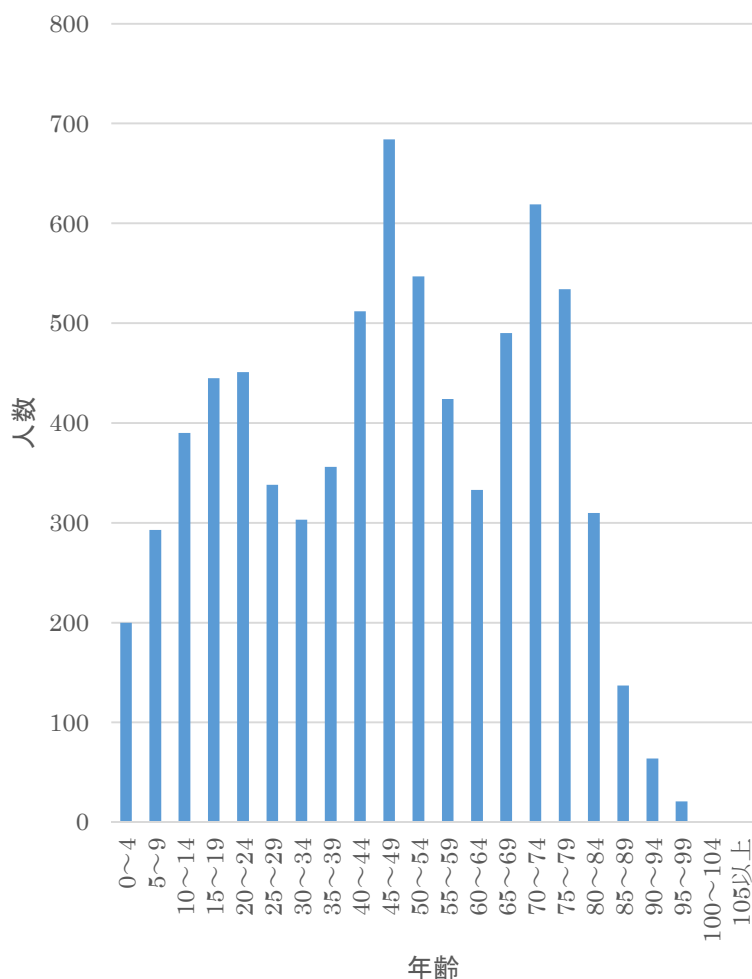
スーパー・ドラッグストア	1 店舗
公園	8 園
バス停（名鉄）	6 箇所
バス停（ふれあいバス）	7 箇所

高台寺小学校

	児童数	学級数
1 年生	35 人	1
2 年生	32 人	1
3 年生	33 人	1
4 年生	42 人	2
5 年生	32 人	1
6 年生	33 人	1
特別支援	9 人	3
合計	241 人	10

神島田小学校区

人口構成（神島田小学校区）



人口	7,427人	5位
世帯数	3,011世帯	5位
出生数	35人	5位
出生率	4.7%	4位
死亡数	70人	6位
死亡率	0.94%	6位
高齢者数	2,176人	5位
高齢者率	29.3%	4位
高齢者の 独居数	444人	7位
独居率	20.4%	6位
特定健診 受診率	41.6%	6位
メタボ率	23.9%	3位

外来医療費が多い疾病

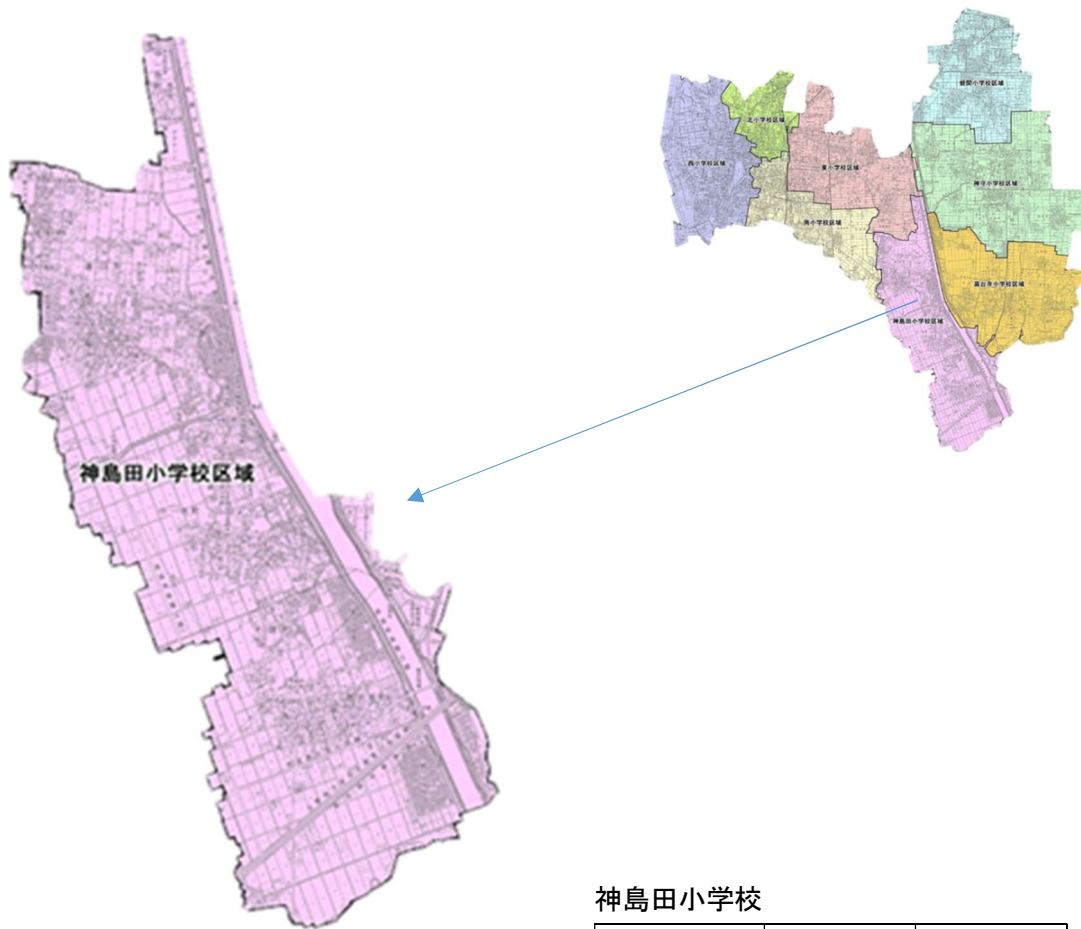
1位	内分泌	20.7%
2位	循環器	12.0%
3位	筋骨格	9.3%

一件当たりの医療費

外来	20,150円
入院	577,960円
歯科	12,040円

校区の特徴

神島田小学校区は、面積約419haで全市の16.7%を占めている。令和2年3月1日現在、7,427人、3,011世帯で人口は減少、世帯は増傾向である。高齢者の独居率が低く、居宅サービスも充実している。校区内に鉄道の駅はないが、JR永和駅が近く、名古屋へのアクセスは良い。新興宅地は日光川沿いに多い。校区の西側は田畑が多い。中心地の支所周辺に、保育園や小学校が位置している。医療機関等はあまり多くないため、接している近隣市町の医療機関をかかりつけ医として利用する住民も多いのではないかと考える。



医科	1 件
歯科	1 件
薬局	1 件
居宅サービス	23 件
施設サービス	4 件
障がい者支援事業所	5 件

こども園	2 園
------	-----

大型店舗（売り場面積 1000 m ² 以上）	1 店舗
公園	12 園
バス停（名鉄）	3 箇所
バス停（ふれあいバス）	19 箇所
駅（最寄り駅）	1 駅

神島田小学校


	児童数	学級数
1 年生	36 人	2
2 年生	54 人	2
3 年生	58 人	2
4 年生	64 人	2
5 年生	94 人	3
6 年生	51 人	2
特別支援	23 人	6
合計	380 人	19

暁中学校

	生徒数	学級数
1 年生	132 人	4
2 年生	113 人	3
3 年生	118 人	3
特別支援	13 人	3
合計	376 人	13

2 計画中間評価経緯

令和2年度 第2期 健康日本21津島市計画推進ワーキンググループのスケジュール

開催日	場所	内容
7月28日（火）	総合保健福祉センター 3階 第一会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から令和元年度の取組のふりかえり ・コロナ禍に対応した事業の展開意見だし 
9月29日（火）	総合保健福祉センター 3階 第一会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時にもできる健康づくり検討 ・中間評価の検討
11月24日（火）	総合保健福祉センター 3階 第一会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時にもできる健康づくりをするために日常からできること。 ・中間評価の検討
令和3年 2月16日（火）	総合保健福祉センター 3階 第一会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度検討報告（非常時にもできる健康づくり～日常からできること～） ・中間評価の報告準備
3月9日（火） 15:00-16:00	総合保健福祉センター 3階 第一会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の検討報告及び中間評価の報告 ・推進委員の講評・助言



3 名簿

令和2年度推進委員名簿

委 員	氏 名
津島市医師会会長	平野 高水
津島市歯科医師会会長	永縄 貴
津島市薬剤師会会長	大鹿 良子
愛知県津島保健所所長	片岡 博喜
津島市教育委員会教育長	浅井 厚視
津島市社会福祉協議会会長	浅井 彦治
津島市民生児童委員連絡協議会会長	濱田 のぶ
津島市老人クラブ連合会会長	日比 正光
津島商工会議所専務理事	浅田 英宣
高台寺小学校区 コミュニティ推進協議会会長	安藤 達好

令和2年度第2期健康日本21津島市計画推進ワーキングメンバー

市民・関係機関代表

所 属			氏 名
健康づくり推進員		会長	星野 和平
食生活改善推進員			吉金 千津
健康づくりリーダー		代表	鶴見よし子
糖尿病予防し隊		代表	大石美智子
運動自主グループ		代表	田中 和夫
介護予防ボランティア		代表	野田 郁子
コミュニティ	蛭間	代表	国分 哲也
協会けんぽ 愛知支部			野村 高志
主任児童委員	東		垣見 圭子
津島保健所	総務企画課		山田 景子
地域包括支援センター	北「さくら」	代表	和気多恵子
地域包括支援センター	中「おあしす」	代表	水谷 晃子
地域包括支援センター	南「いきいき」	代表	浅井 裕子
津島商工会議所			古田 一矢
社会福祉協議会			小西 真弓
あいち海部農業協同組合			則武 侑佳
昭和機械株式会社	サンガーデン事業部		浅野 静雄
養護教諭	西小学校		加藤いづみ
栄養教諭	暁中学校		水野 陽子
津島市老人クラブ連合会		代表	川合 有

行政各課

所 属	グループ	職	氏 名
市長公室企画政策課	行政経営グループ	統括主任	牧 齊世
市長公室人事秘書課	人事グループ	主査	浅田 孝広
市長公室 シティプロモーション課	プロモーション グループ	主事	竹内 友哉
総務部財政課	財政グループ	主査	水野 寛文
市民生活部市民協働課	地域コミュニティ グループ	統括主任	植木美千代
健康福祉部福祉課	福祉グループ	主事	浅野 加名
健康福祉部高齢介護課	地域包括ケア グループ	保健師	水野 葵衣
健康福祉部保険年金課	国民健康保険 グループ	保健師	水谷 瞳
健康福祉部子育て支援課	児童保育グループ 西地区支援センター	所長	安井 清子
建設産業部都市整備課	都市整備グループ	技師	宮田 皓司
建設産業部 産業振興課	農政グループ	主事	大野 将史
教育委員会学校教育課	学校教育グループ	主事	近藤 崇史
教育委員会社会教育課	スポーツ振興 グループ	主事	安井 康基
市民病院	地域医療センター	主査	岡田 勝利
健康福祉部健康推進課	母子保健グループ	保健師	仁科麻由子
健康福祉部健康推進課	成人保健グループ	副主任保健師	岡本 知行
健康福祉部健康推進課	成人保健グループ	保健師	南 咲喜
健康福祉部健康推進課	成人保健グループ	保健師	五藤 真子
健康福祉部健康推進課	成人保健グループ	歯科衛生士	太田 真由

事務局

所 属	グループ	職	氏 名
健康福祉部		部長	水谷 勝彦
健康福祉部健康推進課		課長	鈴木 克己
健康福祉部健康推進課	成人保健グループ	主任管理栄養士	佐藤 知子

支援機関：あいち健康の森健康科学総合センター

職	氏 名
課長	尾関 拓也
主事	池田 達哉
主事	井村 聡仁
技師	佐々木伸一

※令和2年度 愛知県 市町村健康づくり技術支援事業による。

